

話題の'85ニューモデルぞくぞく登場!

スマイリング・スプリンター

TRV
トライ

5バルブパフォーマンス

FZ750

ポテンシャルシングル

SRX400/600

ネーキッドタイプ・ピュアスポーツ

FZ400N



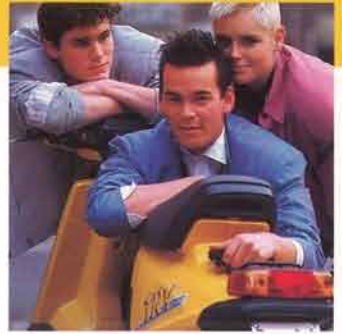
トライが街をくすぐるぞ。

道具感覚の新スクーター、ヤマハ・トライ新登場。

- カラー：ソフィアイエロー／リゾートブルー／シルキーホワイト／ストーミィレッド
- 標準現金価格：99,800円(北海道、沖縄は3千円高)

道具感覚あふれる斬新なスタイルに、軽快でスポーティなフットワークをもち込んで、ニュースクーター『トライ』が新登場します。『トライ』は、カジュアルなイメージでベストセラー街道をひた走るジョグ、群を抜く走りの良さに人気が集まるチャンプとともに、

ヤマハ・ヤングスプリンター・トリオを形成。スクーター市場の中心・ヤング需要の一層の拡大に挑戦する新商品です。発売に当っては多彩な新発売キャンペーンも展開いたします。'85春商戦開幕のトップバッター『トライ』をよろしくおねがいいたします。



新設計の軽量エンジンが生み出す、俊敏・軽快、胸のすく走り。

強力5馬力のニューエンジンは、発進加速重視型。0→50mの発進では、ジョグをものぐダッシュを見せます。リッター当たり90kmの低燃費もたいへん魅力です。

定評のニューパワフルマチック。

駆動は、ジョグ、チャンプで定評のニューパワフルマチック(Vベルト無段変速)。スムーズな

発進、パワフルな加速、すぐれた登坂力を発揮します。

リンク式エンジン懸架でソフトな乗り心地。

リンク機構とダンパーラバーの組み合わせで、エンジン振動を確実に吸収、ソフトな乗り心地を生み出しています。またオイルダンパー式のリヤサスペンションが、ソフト感をさらにアップしています。

始動安全装置つきセルスターター。

始動はセル専用。ブレーキを操作していないとセルが回らない安全機構付。CDI点火、12Vカルシウムバッテリー、バッテリー容量警告灯、さらにレクチファイヤ・レギュレーターも装備して信頼性を高めました。

ゆったり広びるフットスペース。

長身の人でもらくらく足が伸ばせる、広々としたフットスペースです。



機能的で見やすい大型メーターパネル。

スピードメーター、電気式フュエルメーター、オイル警告灯、速度警告灯、走行距離計にバッテリー容量警告灯までセット。必要な情報がひと目で確認できます。

道具感覚のスタイリング&カラーリング。

サイドのトライアングル・ラインも軽快でスポーティなトライ。目のさめるようなカクテルカラーのボディとブラック仕上げの機能部分のコントラストも新鮮なトライ。道具感覚。あふれるフォルムです。

大型テール&フラッシャーランプも道具感覚を強調。

リヤエンドから突き出させたテール&フラッシャーランプが被視認性を高めながら、トライの道具感覚を一層引き立てています。

ヘルメットがボディライン内に収まるヘルメットホルダー&シートロック。

駐車時にもヘルメットが邪魔にならず、雨水がヘルメットに入らない親切設計。

遊び心をかりたてるスラント・ラック。

トライアングル・ラインに沿って傾斜してセットしたスラント・ラックが、ヤングの遊び心をかりたて、新しい使い方を創造させます。

※なお、水平リヤキャリアをオプションとして用意しています。



■トライの主な仕様諸元

- 全長1540mm ●全幅610mm ●全高965mm ●シート高710mm ●軸間距離1090mm ●最低地上高105mm ●乾燥重量49kg ●舗装平坦路燃費90km/ℓ(30km/h) ●最小回転半径1600mm ●制動停止距離3.5m(20km/h)
- 2サイクル・強制空冷・単気筒・49cc ●内径×行程40×39.2mm ●圧縮比6.1 ●最高出力5PS/7000rpm ●最大トルク0.55kg-m/5500rpm ●始動方式セル ●点火方式CDI ●燃料タンク容量3ℓ ●オイルタンク容量0.8ℓ ●変速機Vベルト式無段変速
- フレーム鋼管アンダーボーン ●キャスト26"30' ●トレール58mm ●ブレーキ(前後とも)ドラム ●タイヤ(前)3.00-8-2PR(後)2.75-10-2PR ●ヘッドランプ12V25W ●ストップランプ12V21W ●テールランプ12V5W

のピュア・スポーツいよいよ登場! FZ750

●カラー：シルキーホワイト
●標準現金価格：798,000円(北海道、沖縄は7,000円高)

4月1日新発売

'90年代のモーターサイクルを追求したヤマハの先進技術思想“ジェネシス”のもとに、750cc専用設計で新開発したヤマハ・4サイクル・パフォーマンスのニューリーダーFZ750。

量産車世界初の5バルブ・DOHCをはじめとするかすかすの革新メカと、想像をはるかに上まわる

操縦安定性に、世界中の眼が集中するFZ750が、4月1日よりいよいよ国内市場にも新登場します。

また、同時開発のファクトリーマシン「FZR750」(8ページ参照)によるF1レース活動もスタート。

'85年の4サイクル・スーパースポーツ市場をリードする、“FZ”の始動です。



すぐれた直進安定性、コーナリング性能を生み出す前後サスペンション。

フロントフォークは、39φの大径インナーチューブにスタビライザーを装備してねじれ剛性を高め直進安定性をアップ。また4段階調整式リアアブルダンパーも採用して、コーナリング性能を高めています。同時にリヤのアジャスタブル・リンク式モノクロスサスペンションは、プリロード調整をリモートコントロールで行ないます。

強力なストッピングパワーを発揮するトリプル・ベンチレーテッド・ディスクブレーキ。

前ダブル、後シングルで配したベンチレーテッドディスク、対向ビストンキャリアー、セミメタルパッドの組み合わせが、パワフルかつコントロールラブルなブレーキングを約束します。

専用開発の前16吋、後18吋ラジアルタイヤで操安性を向上。

フロント120/80R16、リヤ130/80R18——FZ750専用開発のダンロップ・スポーツラジアルをワイドリムとともに採用して、グリップ力を高め操安性を大幅に向上。同時に軽量アルミホイールを採用してバネ下重量も軽減させています。

35W/35W異形角型・2連ハロゲンランプ。

視認性の高いセンタータコ式3連メーターパネル。

4ピース構造で整備性も高いフレームマウントフェアリング。

21ℓ大容量フュエルタンク。

重心位置の低下、重量マスの集中、さらに残量変化による重心位置変動の減少など、操安性向上にも貢献している大容量燃料タンク。

■FZ750仕様諸元

●全長2225mm ●全幅755mm ●全高1165mm ●シート高790mm ●軸間距離1485mm ●最低地上高155mm ●乾燥重量209kg ●舗装平坦路燃費42km/ℓ(60km/h) ●登坂能力31° ●最小回転半径3.2m ●制動停止距離14m(50km/h) ●4サイクル・水冷・DOHC 5バルブ・並列4気筒・749cc ●内径×行程68×51.6mm ●圧縮比11.2 ●最高出力77PS/9500rpm ●最大トルク7.0kg-m/6500rpm ●始動方式セル ●潤滑方式強制圧送ウエットサンプ ●ラジェター容量2.3ℓ ●エンジンオイル容量3.5ℓ ●エレメント不織布 ●燃料タンク容量21ℓ ●キャブレターBDS34×4 ●点火方式フルトランジスタ ●点火プラグDP8EA-9、DP7EA-9、X24EP-U9、X22EP-U9 ●バッテリー12V14AH ●1次減速(比)ギヤ(1.895) ●2次減速(比)チェーン(2.588) ●クラッチ湿式多板式 ●変速機リターン式6段 ●変速比①2.923 ②2.187 ③1.777 ④1.500 ⑤1.272 ⑥1.125 ●フレーム高張力鋼管ダブルクレードル ●キャスト25°30' ●トレール94mm ●タイヤ(前)120/80H16(後)130/80H18 ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク ●ディスク有効径235mm ●緩衝装置(前)オイルダンパー+エア+コイルスプリング(後)オイルダンパー+コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)140mm(後)120mm ●ヘッドランプ12V35W35W(ハロゲン) ●テールランプ12V5W ●ストップランプ12V21W ●フラッシュランプ12V21W



前傾45度インライン4エンジンで、動力性能と運動性能を一挙にアップ。

ジェネシス・コンセプトの中核、前傾・低重心エンジンの大幅な前傾化によって、真上（従来の燃料タンク部）にセットした大容量 7.2ℓ エアクリナーから、4連装備の新設計ダウンドラフトBSキャブレター、そして1気筒当り3個のインテークポートへと混合気をストレートに吸気。4輪FIマシンと同様のこのダウンドラフト吸気と5バルブ・DOHCなどが相まって77PS/9500rpmのハイパワーとクラス最大7.0kg-m/6500rpmの高トルクを発揮します。

量産車世界初の5バルブ・DOHC。

FZ750のバルブ機構は、吸気3、排気2のバルブを星型に配置した5バルブ・DOHC。量産車としては世界初のこの革新メカは、単に吸排気効率の向上ばかりでなく、理想的なコンベックス型（レンズ状）燃焼室を形成、高圧縮比を確保し、あわせて燃焼効率の飛躍的な向上をもたらしています。

4into2エキゾースト・マフラー。

エンジンの前傾化によって、エキゾーストパイプは曲がり数が少なくスムーズな取りまわしが可能となり排気効率も向上。同時に1-4、2-3エキゾーストパイプを連結し、排気脈動を利用してフラットトルクを確保しています。また、マフラー内部にはベルマウス管を採用し、消音効果を高めながら、排圧を低く抑えています。

背面ジェネレーターでスリムなエンジン幅を実現。

大容量25アンペア、強制空冷式のACジェネレーターをシリンダー背面にセット。エンジンをスリムにまとめあげています。また、コンピューター制御フルトランジスタ点火のバルサーをクランク軸両端に直付けしたのも、エンジン幅のスリム化に寄与しています。

遊び調整不要。

油圧クラッチ採用。

電磁式燃料ポンプの装備。

リザーブ位置まで燃料レベルが下がると自動的にポンプの作動は停止し、ライダーに知らせます。そしてリザーブへの切替えはフェアリング左のスイッチで行ないます。

大容量アルミラジエター採用。

ダブルコア・クロスフロータイプのアルミラジエター、電動ファンも装備して冷却性能も万全。パワーフェンダーもラジエター冷却風の整流効果を果しています。

高性能エンジンにマッチした、軽量・高剛性、角断面高張力鋼管ワイドタイプ・ダブルクレードルフレーム。

FJ1100のラテラル・フレームと同様にステアリングヘッドパイプとリヤアーム・ピボットを直線で結ぶ構成で、軽量化を図りながら高剛性を確保。またウンチューブは脱着式として整備性を高め、エンジンはフレームに搭載したままでシリンダーまで脱着可能です。

SRX400/600



味のあるコーナリングで、ベテランライダーの高度な走りに応えます。さらに、ブレーキもスロットル・ディスクと対向ピストンキャリバーのセットを、SRX600はトリプルで、SRX400は前後にシングルで装備しています。

ハイクオリティな仕上げ、つくりの良さ、そして材質感もSRXならではの魅力。

走りばかりでなく仕上げ、つくり、材質感などハイクオリティなモーターサイクルだけが持つテイストを楽しむ——これもSRX400/600ならではの魅力。そのため、ずい所にアルミなど高級部材をふんだんに使用してメカニカルな美しさを強調しています。セパレートハンドル（400はオプション）、ヘッドランプステー、サイドカバー、フットレストプロテクター、スタビライザー、メーターパネル、リヤブレーキコンプレッションバー（400はオプション）、オイルタンク、キャストホイールなどはいずれもアルミ製。こうしたひとつひとつのパーツに対する吟味

はエキゾーストパイプにも及び、乗り方のちがいによって微妙な焼け方、色のちがいを見せるエキゾーストパイプには素材の美しさがきわ立つ高品質ステンレスを採用しています。

シンプルで視認性の高いメーターパネル。

60W55Wハロゲンヘッドランプフラッシャー兼用クリアランスランプ。

エアブレンタイプ^①の埋込み式タンクキャップ
フエルトンクキャップもタンク面からの突出をなくし、一体感を向上させたエアブレンタイプ。注入口周りは2重構造で、雨水やガソリンはパイプを通して排出されます。

SRX400/600仕様諸元

()内はSRX600

- 全長2085mm ●全幅705mm ●全高1055mm ●シート高760mm ●軸間距離1390(1385)mm ●最低地上高145mm ●乾燥重量147(149)kg ●舗装平坦路燃費51(40)km/ℓ(60km/h) ●最小回転半径2.7m ●制動停止距離14m(50km/h) ●4サイクル・OH C4バルブ・YDI S単気筒・399(608)cc ●内径×行程87×67.2(96×84)mm ●圧縮比8.8(8.5) ●最高出力33ps/7000rpm(42ps/6500rpm) ●最大トルク3.4kg-m/6000rpm(4.9kg-m/5500rpm) ●始動方式キック ●潤滑方式強制圧送ドライサンプ ●オイルタンク容量1.8ℓ ●エンジンオイル容量2.4ℓ ●エレメント不織布 ●燃料タンク容量15ℓ ●キャブレターY27PV ●点火方式CDI ●点火プラグD7EA(NGK) ●バッテリー12V5AH ●1次減速(比)ギヤ2.533(2.387) ●クラッチ湿式多板式 ●変速機リターン式5段 ●変速比①2.307②1.588③1.200④0.954⑤0.807 ●フレーム高張力鋼管ダブルクレードル ●キャスト26" ●トレール108mm ●タイヤ(前)100/80-18 53S(後)120/80-18 62S ●ブレーキ(前)油圧式シングルディスク(油圧式ダブルディスク)(後)油圧式シングルディスク ●ディスク有効径(前)236mm(後)214mm ●緩衝装置(前)オイルダンパー+(エア)+コイルスプリング(後)オイルダンパー+コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)140mm(後)100mm ●ヘッドランプ12V60W55W(ハロゲン) ●テールランプ12V5W ●ストップランプ12V21W ●フラッシャーランプ12V21W

ポテンシャル・シングル テイスティなモーターサイクルの世界を提唱

4月中旬発売予定

- カラー：〔SRX400〕ファインシルバー/サムソンプルー 〔SRX600〕ファインシルバー
- 標準現金価格：〔SRX400〕498,000円(北海道、沖縄は6,000円高)
〔SRX600〕548,000円(北海道、沖縄は7,000円高)

F Z750に象徴される4サイクル・パフォーマンスの世界とあわせて、'85年ヤマハは、テイスティなモーターサイクルの世界を、幅広く提唱してまいります。ハイレベルな“走り”の世界に加えて、マシンの持つメカニズムや素材の美しさなど、モーターサイクルのテイスティ(味わい)な世界を、幅広く楽しんでいただこうというものです。

そして、そんなコンセプトを具現化したのが、4月中旬より新登場するポテンシャル・シングルSRX400/600。シングルのイメージをはるかに超えたスパルタンな走り。シングルならではのマン・マシンの一体感。そして、ハイクオリティなマシンのすみずみにまでおよぶエレメンタリズム……SRX400/600が、'85年スポーツバイク市場を拡大します。



YDIS装備の空冷・4サイクル・OHC4バルブエンジンが生み出すトルキーなパワー。

ねばり強い4サイクル・シングルの特性を最大限に引き出すYDISを装備し、SRX400は3.4kg-m/6000rpm、600は4.9kg-m/5500rpmのフラットで強力なトルクを発揮。同時に33PS/7000rpm(400)、42PS/6500rpm(600)のハイパワーを生み出しています。

また、SRX600の排気量は608cc。F1ロードレースの最小排気量規定に合わせて設定したのですが、こんなところからもSRX400/600の非凡な“ポテンシャル”を読みとっていただきたいものです。

完璧なマン・マシン一体感をつくる、軽量・スリム・コンパクトボディとトルキーエンジンの理想的バランス。

マン・マシンの完璧な一体感を噛しめながらカブよいダッシュを楽しみ、ダイナミックにコーナーを攻める——これこそポテンシャル・シングルSRXの身上です。そして、これをつくり出しているのが、シ

ンプルなスタイルの内にもり込まれた最新のスポーツデザインです。

つまりエンジンは一軸バランスを装備して振動を低減し、リジッドマウント化して車体の剛性アップに寄与させ、フレームも剛性の高い角形断面高張力鋼管ワイド・ダブルクレードル型を採用。またエンジン背面に2ℓ容量のオイルタンクをセット、同じくエンジン後方に多段膨張反転構造の排気膨張室を設けて集量マスの集中、重心の低下を図っています。これにより、きわめてカチッとした走行安定性と操縦性を生み出しています。さらにこれらの特徴は、1390mm(600は1385mm)のショートホイールベース、760mmの低シート高と相まってマン・マシンの一体感がかつてないほどに高め、低くセットした15ℓ燃料タンクを抱き込むようにしてのコーナーリングは、まさに“スーパーコーナーリングマシン”の異名にふさわしいものです。

オイルクーラーを標準装備。(SRX600のみ)

エンジンの潤滑は、強制圧送ドライサンプ式。

1.8ℓ容量のアルミ製オイルタンクにはフィンをつけて冷却効果を高めた他、SRX600では、オイルクーラーも標準装備しています。

オート・デコンプ装備のキック始動。

パワフルな走りをイメージさせるスーパーショートマフラー。

スパルタンな走りを支える強力な足まわり。

シングルのイメージをはるかに超えたスパルタンな走りをみせるSRX400/600。それを支えるサスペンションは、フロントにアルミ・スタビライザー装備のセミエア式フォークを採用。リヤには、ドカルボンタイプのガスショックアブソーバーを装備しています。(400はオプション)

また前後輪とも18インチ・アルミキャストホイールにチューブレスタイヤを装備。18インチならではの



FZ400Rの走りの血統を手軽に楽しむ ネーキットタイプ、ピュアスポーツ

FZ400N

3月5日より新発売

- カラー：ストーマーレッド/レジナブルー
- 標準現金価格：569,000円（北海道、沖縄は6000円高）

ツーリングからF3レースまで、幅広い人気を集める4サイクル・ミドルスーパースポーツ「FZ400R」に、3月5日より、フェアリングを装備しないネーキットバージョン『FZ400N』が、追加されます。

この『FZ400N』は、きわめて高い市場評価を集めている「FZ400R」の動力性能、運動性能を、多くの人に「より気軽に」楽しんでいただくよう開発したものです。

それだけに、機能むき出しのシンプルなスタイリング、風を切って

走る爽快感、加速感、スピード感、取りまわしの容易さ……といったネーキットモデル特有の魅力をつよめたばかりでなく、ヘッドライトとメーターパネルのフレームマウント化によって、「FZ400R」で定評の軽やかなハンドリングを、そのまま再現しているのが特長です。



■FZ400Nの主な特長

1. フレームマウントの角型ヘッドランプ、メーターパネル
ネーキットタイプでも、ヘッドランプとメーターパネルは、フレームマウントとし、ステアリングまわりの慣性モーメントを低減して「FZ400R」同様の軽快なハンドリング性能を再現しています。
2. 幅広いユースに対応するマイルドなポジション
ハンドルを20mmアップ。ややマイルドなライディング・ポジションとしています。
3. ラジエターにアルミプロテクターを装備
ラジエターにアルミプロテクター、またラジ



エターホースにも巻き線を装備してガード機能を高めています。

4. エンジンカラーの変更
クランクケースカバーとヘッドカバーをゴールドに、フュエルコックカバーをブラックに変更。
5. 3連メーター
フレームマウントのメーターパネルには、スピードメーター、電気式タコメーターに水温計をセット。シンプルで精悍なイメージです。

※上記の特長以外、水冷・4サイクル・DOHC・16バルブ・4気筒、59ps/12000rpm、3.7kg-m/10000rpmなど基本的には「FZ400R」と共通です。

'85ヤマハ ファクトリー ロードレーサー

ご商売のあらゆる場面で、その影響がはっきりと見受けられるほど緊密な関係にある一般モーターサイクルとモータースポーツ。そうした中で、今年も“モータースポーツのヤマハ”は、ここにご紹介するファクトリーマシンによ

って活発なレース活動を展開してまいります。

新素材の研究、生産技術の改良から画期的な新技術の開発まで、モーターサイクルの技術革新を推進するファクトリーマシンの活躍にどうぞご期待ください。

※なお、'85年度のヤマハレース活動計画は、26ページにご紹介しました。

ジェネシスの限りない可能性追求へ FZR750

FZ750のF1レーサー

4月1日より、いよいよ国内市場にも登場する話題のピュアスポーツ「FZ750」と同時開発のフォーミュラ1レーサー「FZR750」。

前傾・低重心エンジンの基本構成はそのままに吸排気のチューンによってパワーアップと出力特性を変更。車体関係もYZR500同様のデルタボックスフレームの採用や軽合金部品の多用による軽量化などで、高度な操安性をさらに向上。“ジェネシス”コンセプトの限りない可能性に挑戦します。

◆FZ750との主な変更点

〈エンジン関係〉吸排系の変更、乾式クラッチ採用、ギアレシオ変更、新開発キャブレターの採用、軽量化

〈車体関係〉デルタボックスフレーム採用、ディメンション・フロントアライメント・前後荷重分布の変更、フレーム・リヤアーム・フロントフォークの剛性バランスの変更、ブレーキ性能向上、空力特性の改良、軽量化



■FZR750の主な仕様諸元

●水冷、4サイクル、DOHC、5バルブ、並列4気筒・749cc●最高出力130ps以上●最高速度270km/h以上●潤滑方式ウェットサンプ●点火方式フルトランジスタ●6段変速●タイヤ(前)17/18インチ(後)17/18インチ●車両重量155kg以下(スプリント仕様)



連続制覇へ YZR500

熟成度を大きく向上

昨シリーズは、世界GPと全日本選手権の両シリーズでチャンピオンズ・マシンに輝き、その高性能も去ることながら抜群の安定性と信頼性を世界中に印象づけたYZR500。

その実績をベースに、'85モデルは2サイクル・水冷・Vフォーエンジンとデルタボックスフレームを中心に、一層の軽量化、冷却性の向上、荷重分布、剛性バランスの改良を図って、総合的な熟成度を大きく高めています。

〈エンジン関係の改良点〉振動の低減、出力特性の変更、新開発キャブレターの採用、カウリングの形状変更などによる冷却性向上

〈車体関係の改良点〉デルタボックスフレームの熟成、軽量ホイールの採用、大幅軽量化、ディメンション・フロントアライメント・前後荷重分布の改良

〈その他〉整備性の向上

■YZR500の主な仕様諸元

●水冷、2サイクル、クランクリードバルブ、Y P V S 装備・V型4気筒・499cc●最高出力140ps以上●最高速度280km/h以上●点火方式C D I ●6段変速●ホイール(前)16/17インチ(後)16/17インチ●車両重量120kg以下

《特集》魅力の新品を強力に売り込む

あなたのお店の 魅力づくり

ことしのご商売の中心となる期待の新品もつぎつぎと顔をそろえ、いよいよ本格的な'85商戦の開幕です。

商品それぞれの魅力が、お客さまのシビアな眼でしっかりと吟味される時代、同様に販売店さんのパワーや魅力もお客さまの厳しい選択眼にさらされている時代です。

魅力の新品をこの春強力に売り込むために、お店はどんな魅力を備えていなければならないのか——トライ、SRX400/600、FZ750の発売を機に、それぞれの市場別に東西10店の販売店さんに取材しました。



1 ヤング・スクーター需要に対する魅力づくり

良いモノを選ぶのと同じく、良い店を選ぶ

ヤング・スクーターユーザー

道具感覚あふれるニュースクーター・トライの登場で、この春一番の拡大が期待されるのがヤング・スクーター需要。彼らに対する店の魅力づくりを考える前に、いまやスクーター市場全体の6割を占めるまでになったヤングたちが、一体どんな感覚でスクーターに乗っているのか、を整理してみよう。

イク大好き人間ではないこと。しなやかな感性を持ち、趣味も多く、流行にも敏感に反応する「普通」の若者たち。そして、彼らの「生活道具」として定着しているのがスクーター。それもジョグ、チャンプに代表される「走り」のスクーターなのです。

「感覚的なヤングですからスタイルやカラーにこだわるのは当然ですが、それ以上に走行性能も重視されています。スクーターは、彼らにとってある時は暮しの足であり、ある時はスポーツバイクのような、走って楽しむものでもあるのですから。それだけにスクーターの選択はシビア。ほとんどの人が、来店する前に、友人のスクーターで、試乗を済ませてくるようです。ですから当然、いかにいいセールストークは通用しない。

若者がよく行くブティックやスポーツショップと同じ視点で比較される。ですからそれなりに接客態度などにも気を遣う必要がありますね。安ければなんでもいい、どんな店でもいいというお客さまはほとんど姿を消し、自分の感性に合ったものを、納得できる店から購入する。アフターサービスについても十分重視しているようですよ」

では、こんなヤング・スクーターユーザーの人気を集める販売店さんは、実際にどんな魅力づくりを行ない、他店との差別化を図っているのか、次にみてみましょう

道具感覚でスクーターに乗るヤングにとって最大の魅力は「信頼」の文字

ヤング・スクーターユーザーに対する販売店の最大の魅力は「信頼度」。開口一番こうおっしゃるのは、前出の神戸市「モトショップコンノ」。今野久男社長。神戸大学、神戸外語大学、甲南大学の3つの大学を商圏内に持つ

ことから18才〜22才の大学生ユーザーが、お客さまの3分の1以上を占めるお店。4月末から5月上旬の新学期に各大学生協で開催する展示試乗会も、ことし3年目を迎えるというほど、キャンパスと密接なお店です。

「スクーターが出始めた頃のヤングユーザーというのは、バイク好きが面白半分に乗っていた感じでしたが、いまは原付免許を取ってもスクーターに乗るといいうように、スクーターがヤングの生活必需品になっているんです。ですから親身なアドバイスが絶対必要」といって、今野社長は新しいスクーターが発売されると必ずデモカーをおろし、社

長みずからが学生さんたちの生活圏をテストランされています。そして発達加速や走りの具合、商圏内に多い坂道での登坂力などを確認され、お客さまにお勧めする時は、今野社長みずからのインプレッションを交えながらお客さまの使用用途に最適なスクーターを選択してあげています。

このアドバイスとあわせて好評を集め、お店の信頼度アップに寄与しているのが、各大学生協を通じて3000枚ずつキャンパス内に配布されるチラシです。これはスクーターの宣伝よりもお客さまの立場に立った情報やアドバイスを力点が置かれ、2月などは冬場のメンテナンス・アドバイスとして、バッテリー



親身になっての応待が人気の今野社長(左)

←これは3月に配布予定のチラシの下書き。スクーターのやさしい点検と整備が細かく、わかりやすくまとまっている。



のメンテナンス・アドバイスとして、バッテリー

あなたのお店の魅力づくり



気軽にお店を訪れる大学生のお客さまに。



「液のチェック法」などがもり込まれています。「いまのヤングは、しっかりとモノの良さを判断します。商品に対してばかりでなく、それを扱う店の良否もね。ですから、信頼の2文字こそ、一番の魅力だと思っんです」この「信頼感」が定着しているからこそ、ヤング需要拡大のキメ手といわれる口コミによる紹介販売の輪も、きわめてスムーズに拡大しているのです。

電話一本で即刻参上の無線サービスカーで、お客さまの緊急トラブルに対応

耐久消費財の購入に当って、お客さまが一番気になるのがアフターサービス。しかも、スクーターユーザーのアフターサービスの要求は、「困ったからすぐ来て」という救急タイプが特徴。

これはヤングユーザーでも決して例外ではありませんが、こうしたお客さまの要求に対する救急サービスを、お店の「魅力」として打出し、エリアでナンバーワンのジョグ販売実績を誇っているのが、横浜市郊外の新興住宅地・緑区榎が丘で創業11年のご商売を展開する「サイクルメイト・ヒロシ」(鈴木洋社長)さんです。

5年前、当時100万円を投資して3台の営業用無線を設置してスタートした。無料出張サービスを、鈴木社長は次のように語ります。「エンジンがかからないから来てください」とか「パンクして走れないんです」「カギを紛失してしまつて…」お客さんからのそんな電話が日に平均5、6件、多いときには10件以上もかかってくるんです。ええ、若いスクーターユーザーからです。お客さんにとっては「暮しの足」ですから即刻修理してあげよう、そう思つて2台のサービスカーを使って、無料出張サービスを5年前から続けているんです。

折込みチラシにも毎回必ず「電話一本で無線カーが即刻参上」と謳われているだけに、お客さまの間にも定着。最近では、半分は他店のお客さまで、附近のヤングの間には、お店の電話番号をチラシから切りとって免許証と一緒に持ち歩いている人もいます。…「原則は無料ですが、他店のお客さまからは500円の出張代をもらっています。でも大切なのは、他店のお客さまに対してもイヤな顔をしないことです」と鈴木社長。



→「行動半径はどのくらいか」と「5分もかからない」とお客さまが喜ぶ理由

↓出張サービスを担当する土居仁彦さん(左)



スクーターレースの開催でヤングユーザーの遊びジャンルに広げる

ジョグ、チャンフなどスプリント・スクーターの急増で、ヤングユーザーの間に急速に高まっているのが、「スクーター耐久レース」。

など、スクーターを使った遊び。トライアルの登場は、こんなブームにさらに拍車を駆けるものとなりそうですが、お店のスポーツクラブ

が「スクーター耐久レース」を主催し、ヤング・スクーターユーザーの人気を集めているのが埼玉県大宮市の「サイクル

ロード・イーター」(伊藤品社長)さんです。「イーター」さんの「スクーター耐久レース」は、お店近くの見沼自動車教習所を会場に、



↑ヤング・スクーターユーザーの人気を集める「サイクルロード・イトー」さんのスクーター耐久レース
→店内にはレースリザルトも
↓「地道にスクーターレースを続けたい」と話す伊藤社長。レースの様子はすべてビデオに収録して、店内演出に活用。レース後のビデオ貸出しも、ヤングから評判



お店のクラブ「イトーライダーズ」が主催するもので、役員は全員クラブ員。昨秋の2度の開催が大盛況だったのに応えて、今年も1月20日に第1回を開催、5月19日に2回目

が予定されています。
「ヤングにとつて、スクーターがあれば買い物も、ツーリングも、そしてレースも楽しめる。それを店の活動として提供したかったんです。もちろん運転技術を高めて安全にスクーターに乗って欲しいということもあります……」
参加費は、お弁当と記念品付きで5千円。1時間の耐久レースを2ヒートで楽しんでもらうものですが、ノーマルのマフラー装着を義務づけていることから「気軽に、安く楽しめて最高」と他店のお客さまも含め50台以上のヤングが、つめかけてきます。
「告知は口コミだけ、でもヤングの間の口コミパワーは強力ですからね。もう完全にうちの魅力として、この耐久レースが定着していることもありま……」
とおっしゃるとおり、2月上旬、店内の掲示板の「5月19日、スクーターレース参加申込み」メモの下には、すでに何名もの名前が書き込まれていました。

② ティスト派ユーザーに対する魅力づくり

「趣味」にあったバイク、「趣味」にあったお店を求めるティスト派

パフォーマンスや走りはもちろん、それに加えてモーターサイクルのティスト、感覚的な世界をより幅広く楽しみたい——昨年のSRX250の登場で、にわかに顕在化してきたそんな新しいスポーツユーザー層の一角の拡大も、今年大いに期待されるところです。

その強力な推進役SRX400/600の登場もま近かですが、アグルトを中心としたティスト派ユーザーとは、一体どんな人たちであり、どんな特性を備えているのか、さらに彼らは販売店さんにどんな「魅力」を求め

ているのでしょうか……。

「ブライドが高く、人の意見をあまり聞かない頑固な人、自分で選んだバイクが一番だと信じ込んでいる人」

——表現こそ異なれ、取材した販売店さんの声をまとめてみると、こんなティスト派ユーザーのプロフィールが浮かび上がってきます。年代は20代後半から40代。数多い趣味やスポーツのひとつとしてバイクを楽しむ、比較的リッチな人たち、ともいえそうです。そして「趣味」で楽しむバイクだから、当然

「趣味」にあったお店を選ぶ。「趣味」にあったお店とは、そのお客さまがバイクに対して抱いているロマン、思い入れといったメンタルな世界を理解し、共感を持って接してくれるお店に他ならないのです。

モーターサイクルそのものにマニアックに取組んでいるのが若いレーシー派のお客さまなのに対して、「モーターサイクル・ライフ」

を、幅広く追求しているのが、これらティスト派のアグルトたちといえるでしょう。

「それだけに接客態度にも敏感で、むづかしいですね。でも一度店を気に入ってくれれば定着度は高い。1人のお客さまの縁で、職場のゴルフグループ全員がそっくりお客さまになってくださったんです」YSP川崎・佐々木誠社長」というケースもあります。



1台のバイクに対する共通の「思い入れ」が お客さまとのコミュニケーションを深める

「私もこのバイクのつくりの良さが、たまたまなく好きなんです」お店のそんな姿勢にこそテイスト派のお客さまは一番の魅力を感じるのではないのでしょうかとおっしゃるのは京都市左京区の嶺小山モーターズ・小山幸弘社長。

2年ほど前に輸入外車を扱い始めてからというものは、それまでにはいなかったテイスト派が増えてきているといいます。

「走りに個性を求める、スタイルやつくりにも味を求める、それがテイスト派といわれる

人たちだと思えますが、うちではそんな人たちが輸入モデルに流れているんですね。

とても個人的でガンコな人が多い。自分のバイクは、気に入った店の、気に入ったサービスマンに整備して欲しい」というほどです。

そこで、自他共に認めるバイク通の小山社長は、自分自身が抱いているバイクへの思い入れをしっかりとお客さまに話していますが、そんな小山社長の惚れ込みぶりに惚れ込んだお客さまが、着実に増えているのです。

「口だけではもちろんダメ。店がそのバイク

「好きもの同志の共感、話がわかる店の姿勢がなければテイスト派は、その店に魅力を感じない」とご自身もビッグバイクユーザーの小山社長

に惚れ、大切に扱っていることをカタチでお客さまに見せられなければならない。その意味では、



展示方法を工夫して商品のテイスタイな美しさを表現

↑まもなくこのステージにSR×400/600が…「テイスト派のお客さまは、商品に対しての価値感を強くも見ていますから、それに合った演出が不可欠」と佐々木社長

←YSP川崎のスタッフのみなさん。左から川博一さん、藤田友俊さん、鈴木光記さん、そして佐々木社長

ともすれば理屈っぽく、観念的になりがちなモーターサイクルのテイスタイな世界を、ショールームの演出で表現しよう。その商品のもつテイスタイな魅力を100%伝えようと工夫されているお店も少なくありません。川崎市鶴見区の「YSP川崎」さんもそんな1店。佐々木社長は語ります―

「いまはXV750ピラーゴでやっていますが、バックやライティングなど展示方法を工夫してピラーゴのもつ機能的な造形の美しさ、素材の美しさを最大限に表現しようと思ってるんです。ひとつの「作品」のようなかんじですね」

というわけで、佐々木社長は写真のようなステージを店内に設け、プロックとベニア板レンガ模様の壁紙と床に白い砂をあしらうような演出を成功させています。

経費しめて3万円也というこの演出、SRX400/600の登場時には、さらに大きな効果が期待できそうですが、この演出とあわせて佐々木社長が重視しているテイスト派ユーザー対策があります。

「テイスト派のお客さまは、接客態度などにも敏感ですからね、言葉づかいひとつにも十分気を使っています。そして、セールストークもバイクの専門的な知識ばかりでなく、より幅広い話題をつくり出ししていくように心がけています」

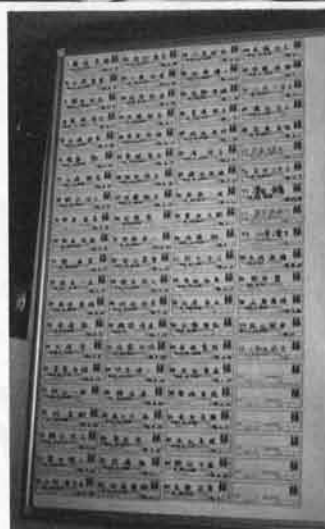
テイスト派のお客さまって、本当はご自分のバイクを思い切った「自慢」しあえる場所を求めているんじゃないでしょうかね」



自由にバイクに接する楽しさを、お店の居心地のよさがアダルトに人気



↑昼休みを利用して近所の職場から遊びに訪れるアダルトのお客さまは多い



↑「今までの経験をフィードバックしたらこんな店になった」と話す高田社長

→70名以上の名前が並ぶ工具会員リスト

ある程度バイクのキャリアを積み、ライディング・テクニクもメカニズムの知識もあるテイスト派のアダルトユーザー。そんな人たちにとって、親切な接客応待や細かなアドバイスは、時にはかえってわずらわしいものに映るかも知れません。そんなところから、あくまでも自由な店の雰囲気づくりにつとめお客さまの好評を呼んでいるのが「ゆぶん」さんの高田文男社長（東京都保谷市）これも、ご自身が大人のバイクフリークという高田社長ならではの「テクニク」なのです。

「ぶん」さんの人気の秘密は、アダルトライダーにとつての居心地のよさです。そして、そんなお店の姿勢を象徴しているのが、ユニークな「工具会員」システムと会則なしという自由なツーリング・クラブです。

「どちらも考え方はひとつ、基本はお客さまの責任感の問題だと思っています。工具を自由に使っても、きちんと洗って元に戻す人たちですし、だまっていればルールを守って走れるツーリングクラブなんです。

とくにアダルトのお客さまは、自分のプライドを持ってバイクに乗っている人ですから余計な管理やアドバイスはかえって迷惑。店は体験の機会を提供するだけで十分だと思います。私自身、若い頃自分でよく古いモデルをレストアして楽しんでいました。その頃「こんな販売店があればなァー」と思っていた、そんな思いを、自分の店で実現したいんです」

お客さまが自由に、好きなようにバイクと接することのできる場所や機会を提供してあげる「ぶん」さんの居心地のよいお店の雰囲気は、テイスト派ユーザーにとって、大きな魅力となっています。

3

4サイクル・スーパースポーツユーザー に対する魅力づくり

ヤング、アダルト、走り屋、ファクション派、ベテラン… 多様化するスーパースポーツユーザー

4サイクル・スーパースポーツ派が、いわゆる「走り屋」と思われていたのはひと昔前のこと。いまでは、彼らの楽しみ方もさまざまに分化しています。

20才前後のヤングに多い、正統派(?)「走り屋」と高性能もファクションとしてとらえる「ファクション派」の2タイプ。

お店に対するニーズも、前者がツーリングやサーキットランなどのスポーツ活動を期待

するのに対し、後者は「売り手と買い手」のドライな関係で十分という様子。

しかし、この両者に共通しているのが、比較的的商品知識に乏しいこと、です。カタログの内容やスペック、専門誌の記事内容にはめっぽう強いのですが、実際の経験が少なく、自分ではチューン調整もできない、というユーザーも決して珍しい存在ではありません。これに対して、もっと余裕を持って走り

楽しみたいから」と高性能スーパースポーツを求めるユーザーは、20代後半から30才代のいわゆるベテラン。楽しみ方もはっきりしていて、それに最も適したモデルをハイレベルな眼で選択します。

もちろん、バイク全般に対する知識も豊富ですから、モデル選びの際にも性能やメカニズムの先進性、革新性、デザイン、スタイリングの話題性なども当然加味されてきます。

お店に対しては、人間関係を重視し、豊富な関連情報と信頼のおける技術力を求め、また自分のバイク観を理解してくれることも望んでいます。そして、こんなベテランユーザーは、またオビニオンライダーとしても強い影響力を持っているのです。

しかし、ヤング・アダルト、走り屋、ファクション派、いずれのお客さまにも共通しているのは、高性能にプラス扱いやすさ、さらにステイタスモデルにふさわしい先進メカ、スタイルを兼ね備えた、話題のスーパースポーツへの期待と関心。その意味でも、陽春4月、FZ750の登場は、この市場を一気に活気づけるものになるでしょう。

YESSへの人気集中が物語るヤングに不可欠の魅力「ステイタス」

《特集》魅力の新商品を強力に売り込む あなたのお店の魅力づくり

「専門誌を読んでスベックだけは良く知っているけど、それ以外はまったくダメ。チューン調整も満足にできないのが、いまのビッグバイクのヤングたちなんです」とおっしゃるのは商圏内にキャンパスを持ちお客さまの半数以上が、20才前後の大学生という東京都世田谷区の「YSP駒沢」・奥沢務社長。

そして、こんなお客さまを対象に奥沢社長がすすめているお店の魅力づくりは、修理サービスとお店の顔となるクラブづくり。それらすべてが、ヤング・レーシー派の見栄心を満足させるカタチで行なわれています。

「ヤングが、高性能なレブリカ・モデルに乗るといことはファッショニックの意味合いがきわめて濃いと思うんです。大型免許、中型免許そのものがファッショニックのひとつです。ですから店としても、そんなヤングの「見栄心」を満足させてあげなければと思っっています。例えばメンテナンスにしても、チューニングするような微妙な整備よりも早く、システム化されたような点検整備が求められ

ているようで、当然料金も事前の見積りから事後の請求までビジネスライクなやり方に人気があるようです」

「YSP駒沢」さんでは、昨年秋のYESSスタートからひと月足らずで60名ものヤングが集まったといいますが、こんな傾向もやはり「ステイタス」を求める表れとみか

「もちろんYESSの特典も重要ですが、ヤングのレブリカ・モデルに乗っているようなお客さまにとっては、それよりも「メーカー直轄クラブ」の会員なんだ、会員証を持っているんだという「ステイタス」が重要なんです。今年はおロードレースのクラブをつくらうと考えていますが、もちろんこれにも、うちの技術レベルのシンボルとしての意味もあります。ロードレースをやっている店で買った」という満足感を、ヤングユーザーに与えてあげることですね

いかにヤング・レーシー派のお客さまとはいえ「対応までハードになると、ついてこない」のが現状なのです。



一壁一面を埋めた工具も、お店のサービス力のアピール

↓最新のスーパースポーツ・ユーザーがひっきりなしに訪れる「YSP駒沢」さんの店内



サービス技術に対するヤング・ニーズをカバーする 「フォーミュラ・レース」活動

レーシングムードいっぱいのお店の雰囲気、スーパースポーツ・ユーザーの心をとらえる「モトショップ梶ヶ谷」さん。メカニックの今村さん(右)と武井社長

靴を脱いで上がるユニークなお客さまコーナーのあるお店として地域のヤング・スポーツユーザーの人気を集めている川崎市高津区の「モトショップ梶ヶ谷」(武井明

社長)さん。このコミュニケーションスペースでお店とお客さま、お客さま同志、活発に交換されている最新のバイク情報も「梶ヶ谷」さんの人気のヒミツですが、同様にお客さまにとっての「魅力」となっているのが、同店のロードレース活動。

「高性能なスーパースポーツモデルを志向するヤングユーザーにとって、店に期待する魅力というのは、じつにたくさんあると思うんです。アフターサービスはしっかりしているか? おもしろいクラブはあるか? サークルウォークは開いてくれるか? サービスマンの手柄はよいか? 用品類の品揃えは多い

か? ……などなど、いくらでもある。そんな中で、ロードレース活動というのが店のサービス技術力を裏づける格好の活動となると思っています。自分たちのバイクに貼ってあるのと同じステッカーを貼ったフォーミュラレーサーがサーキットを走る、それだけでもお客さまのプライドを高めることにつながると思うんです」と武井社長。

レーサー専用の整備室から絶え間なく響いてくるグラインダー音は、若いレーシー・モデルユーザーにとっても、たまらない。魅力が



モーター・サイクルの夢を追うスーパースポーツ派に、ロマンを育てる商品展示

「店にとって一番必要なこと、逆にいえばお客さまにとって一番の魅力は、来店したお客さまにバイクに対する「ロマン」を与えられるか、ということでしょう」

と話すのは、昨年の9月、中型以上のビッグ・スポーツバイクユーザーをメインターゲットとしてオープンしたばかりの「ビバ・オート・ライダーズスポット」の北野建司さん（京都市左京区）

「特にハイパフォーマンスなビッグバイク目当てで来店されるようなお客さまは、マニアが多いもの。それが、自分が惚れ込んだバイクを見に店に来たらそれが倉庫に眠っていた……というのでは、夢もぶちこわしてしまう。商品のもつ魅力を、イメージ的な、感覚面まで含めて十分に引き立てるような演出に気を付けています」

「店が発揮している価値を最大限に発揮させることです」
もちろん、お客さまに夢を与えるのは商品ばかりではありません。お店のスタッフの接客態度も大きなポイント。これについても、北野さんは「店のスタッフ全員が、お客さまのファンとなって、一緒にお客さまのバイクに対するロマンを育てあげられるような店にしたい。」



↑「ビバ・オート」さんの店頭はきれいな石盤を貼ったスロープに、スーパースポーツが立体展示されている。「店にはユーザーをよーきにさせなければ。そのためには商品展示は大切です」と北野さん

→用品コーナーも、ライダーの夢とロマンを拡げる演出が施されている



現在はRZV500Rが、アダルト・レーシー派の熱い視線を集めている、「YSP八王子東」さんのホットコーナー



お客さまコーナーにも情報がいっぱい

アダルトのレーシー派には、じっくり情報収集のできる商品展示で

「オートバイクの本当のおもしろさを理解し楽しみ方もハッキリしているのが、ハイパフォーマンス派のアダルト。だからこそ、性能が求められる、シビアな人たちなんです」

というのは、御年33才、みずからもアダルトライダーの1人としてビッグバイクを楽しむ「YSP八王子東」の高橋博社長。

ご自身の経験を生かして高橋社長が、展開しているアダルト・スーパースポーツ派への魅力づくりは、つぎのようです。

「彼らに一番求められているのは、十分な情報を提供してあげることだと思います。バイクに関することからテクニクのこと、ツー

リングのこと、バイク関係のイベント案内までです」

それと、カタログや専門誌では収集できない情報も提供したいと思って、商品展示と展示の方法にも気をつけています。お客さま自身で触れて、確かめたいだいた情報が一番ですからね。そのためには、店内一杯に展示せずに余欲を持って展示しないと」

こうして「YSP八王子東」さんでは、重点モデルをブロックでつくった展示台に、1台だけ特別展示、きちんとスベック表もセッティングして、お客さまのニーズに応え好評を呼んでいます。

はたらくヤマハ

メイトは私のトレードマーク

●第一生命保険相互会社・福島支社船引支部／福島県田村郡

北海道、岩手県について日本で三番目に広い面積を持つ福島県の中央部。同県経済の要として発展する郡山市から国道288号線を東へ25km下ると、阿武隈高地の真ん中、標高500mの山間地、田村郡船引町へと出ます。人口2万5千人の閑静なこの町でも、ヤマハメイトが、お客さまの奉仕に従事する第一生命さんの足となって元気に活躍をつづけています。



福島支社の浜野副長さん



奉仕職員さんのまとめ役 安部奉仕主管さん



毎日元気にメイトに乗られる菅野奉仕職員さん

奉仕職員さんの大切な「足」メイト

福島県を統轄し、「成果への行動、確認、徹底」をキャッチフレーズに精力的な活動を展開する第一生命・福島支社さん。そして今回お訪ねしたのは、この福島支社さんが直轄する県下23支部のうちのひとつ、第一生命・船引支部さんです。

山間地のため気候の変化が激しく、冬の冷込みも厳しい阿武隈高地。道は山坂が多く、周辺にはまだまだ未舗装路が残ります。

このような環境の中、毎日メイトに乗ってお客さまを訪問するのは、集金や保険相談などに当る奉仕職員さんたちです。この中のお一人、この仕事について20年というベテランの菅野さんに、普段のお仕事ぶりやメイトの評価をうかがいました。

「集金や契約保険の相談、新商品の紹介などで個人加入のご家庭から団体加入の企業まで、管内のお客さまをクマクマ回っています。訪問軒数は少ない日で約40軒、多い日には70〜80軒をメイトに乗って回ります。平均走行距離にすると1日50〜60kmというところですが、山合いの道を走るので環状巡回ができずに効率が悪いです。ですから午前西の町を回ったら、一担支部に戻って午後から東の町を回るといった具合になってしまっていますね。」

そんな中でもお客さまの希望した時間をなるべく外さずに訪問したいものだから、メイトの持つ機動力が絶対に必要となるわけです。もう10年来ヤマハに乗っていますが、出足の良さと故障が少ないので、大いに満足しています」と、メイトに対する評価も上じよう。

雨が降っても、ヤリが降ってもメイトで訪問

それでも気候の厳しい場所だけに、ご苦労も少なくはありません。

「季節で言えば冬、しかも雪の降る日はつらいですね。ちよつと田舎道に入れば未舗装で少し山坂が多い。あまり積雪の多い時には行けるとこまでメイトで行って、後は歩き、なんてこともあります。こんな日はお客さまのところへ着

いての第一声は決まって「すまないけどちよつと手を暖めさせて」。すぐに上ってコタツに手を入れさせてもらいます(笑)。冬の走行には風防にハンドルカバー、それとスノータイヤも必需品ですね。

それと雨の日もまいりますね。走っている時よりも雨ガッパが問題なんです。会社の事務所へ行く時なんかは、雨ガッパを着たままでは入りずらいですから。

まあこんな調子ですから、お客さまからは「菅野は雨が降ってもヤリが降っても来る。なんて良く言われます(笑)。メイトに乗っての訪問は、第一生命・菅野のトレードマークになっていますよ。」

さまざまなお客さまのメリットを生み出す 全国一括管理

この菅野さんのメイトのように、第一線で働くバイクが、すべて本社で一括集中管理されているのも、第一生命さんの大きな特徴のひとつです。

バイクの使用状況を克明に記入した奉仕職員さんからの報告書は支社へ渡り、支社車両担当者の方の手により経費等の処理をされた後、その集計されたものが本社へと届きます。そして本社では全国から集まったデータをコンピューターにインプット。どのポジションからもバイクの使用状況、乗務者名が一目瞭然に解るといふわけです。これらの管理の成果を福島支社の浜野副長さんは――

「一人ひとりの仕事の効率が把握できると予算組みがやりやすいのが最大のメリットですね。一括管理のメリットは安全管理にも生きてきますが、乗っている人がベテランなので、事故らしい事故はまったく起きませんね。もちろん奉仕員打合せ会」という月2回の定例会議時の安全の呼び掛けや、年1回の安全運転講習会などはキチンとやっていますね。」

創業83年を迎えた今、コスト意識をしっかりと持って、お客さまへの利益還元を目的に「低廉追求」と「営業の強化」を進める第一生命さん。その足となって、メイトは今日も全国を走りまわっています。

従業員さん登場

③

ユーザーの気持ちで
お客さまに接し、
自分の店だと思つて
仕事に取り組んでいます！

築地 透さん(30才)

城西モーター・サービス担当(後田絃夫社長) 福岡市早良区

二輪サービスを始めて4年目を迎える築地さん。16才で自動二輪免許を取得して以来、あらゆるジャンルのモデルに乗ってきたという乗車経験と、その間に勤務したいくつかの会社での経験との、ふたつの貴重な経験を生かしながら、若さあふれるキビキビとした仕事ぶりで、若いお客さまの人気を集めています。

●自分がお客だった頃を 思い出しながら……

「福岡県の県立整備専門学校を卒業してから四輪の整備をしばらくやり、その後はガソリンスタンドや飛び込みのセールスなど、いくつかの仕事をやってきました。でも、どんな仕事をしていても、なんとなく違和感みたいなものがあつたんですね。そんな中でバイクに乗っていたのが縁でいまの仕事につながりましたが、小学生の頃から

社長さんからひと言

後田絃夫社長



親がダメだと子供がシツカリするっていうでしょ(笑)。うちもソレですよ。心にゆとりを持って伸びのび仕事をしてもえればいと思つています。

お陰さまで、従業員はみんな生真面目で、陰日向なく一所懸命やってくれます。私はただ見守っているだけ。いつまでも初心を忘れずにつづけて欲しいですね。

自転車を組立てたりするのが好きだったこともあって、きっと十分にあっていっているんですよ。以前とはちがう充実した毎日、今すごくヤル気になっていっています。いろいろやってきた仕事の経験も生かれますし、いま苦にならないようなことは、ひとつもありません。——と、二輪サービスも4年目を迎えて、いよいよ仕事にノリ切っている築地さん。その意気ごみは、普段のお仕事のすい所に見うけることができます。

「入店したての頃って仕事への責任感なんてまったくなくて、修理ひとつにしてもお客さんのことなんか考えず、ただ、修理してやっているんだ」という気持ちだったんです。でも、毎日の仕事をつづけていくうちに、お客さまは自分を頼りにしてくれているんだということが気がついたので。

それ以来、メカ知識のないお客さまには、お医者さんが患者に病状を説明するように、バイクの症状を一から説明するようにしています。ここが悪いから、こうした方がいいですよって。

これは、単純に修理の内容を納得してもらおうということじゃないんですね。バイクを通じてお客さんと心が通じあえるんです」

●仕事は勉強、お客さんは財産

自分がお客だった頃を思い出したら、お客さまに対する接し方も自然に変ってきたという築地さん。それにつれて、仕事に対する取



バイクに精通した頼れる兄貴……築地さん(右端)のそんな人柄にヤングのお客さまが集まってくる

組姿勢も一段と積極的になってきています。

「店に使われているんだ、という受け身の考え方をやめ、自分も経営者的な立場で店と接するようになってきたんです。そうすると何か自分の店みたいで、仕事に対する面白さも全然ちがってくるんですね。

はつきりと仕事に対する欲が出てきたと思います。修理のひとつひとつが、自分の勉強になっているんだ、お客さまの1人1人が財

産なんだって思えてくる。多少、仕事で帰りが遅くなっても苦になりませんし、自分で店をつくっていくんだっていう喜びがあります」

最後に将来の抱負をうかがったら——「敬語を忘れてしまいうぐらい気さくな社長に、ちょっとゴマをすって、会社を大きくして、自分も大きくなりたい。ってことです」とニコリされた築地さん。そのうしろで後田社長の笑顔が、こちらをのぞいていました。

♡ヘルメットの
カラーリング教室登場！

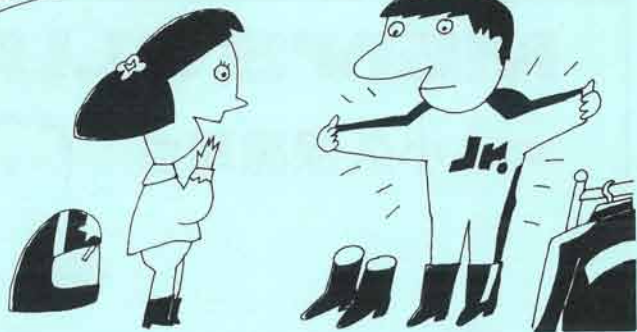
某有名ロードレースライダーのレプリカ・ヘルメットを発売したところ、アツという間に7個も売れたという都内のバイク用品専門店さん。

「やはり入手しにくいオリジナル用品は人気も高い」と同店ではこの経験を生かして、今度はヘルメットのカラーリング・セミナーを企画しました。

。あなただけのオリジナル・ヘルメットを自分の手で作ってみませんか？とお客さまに呼びかけ、埼玉県下の板金塗装店に参加者を集めて開いたもの。

9000円也の参加費にもかかわらず、「自分だけのオリジナル・ヘルメット」とか「ヘルメットのグラフィックを塗りかえて気分一新」

Junior corner



というボーイズやギャルズで、当のセミナーは盛況。9時に開始して、午前中に1回目の塗装、午後2回目、3回目、そしてクリアーまで行ない、終了は5時半という、みっちり1日コースでした。

また、この用品専門店さんでは、約2週間でできるヘルメットの「カラーオーダー」も行なっています。

♡常連のお客さまに
2階を解放

「常連客は大切なオビニオンライダー、でも彼らがいとも店頭にたまっていてフリーのお客さまが入りにくそうで……」

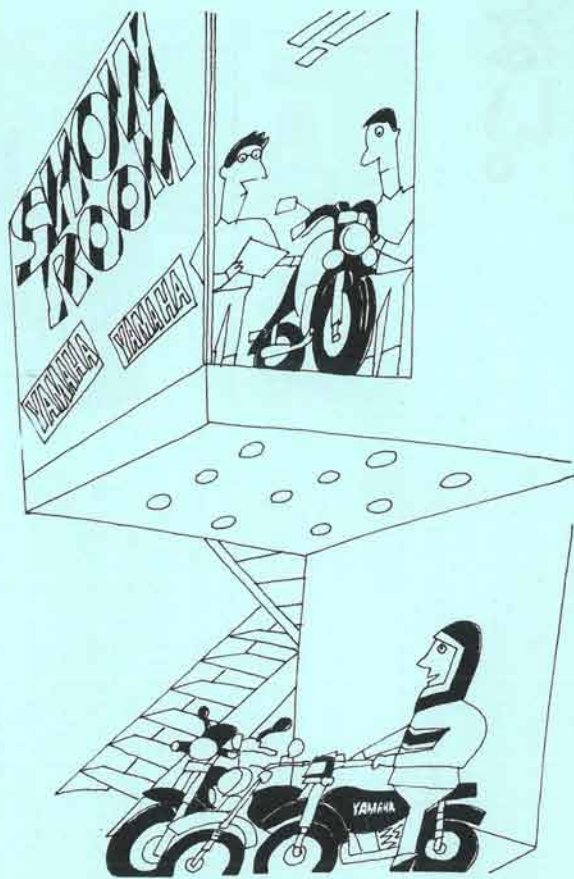
そんな悩みをお持ちのお店も多いはず。そこで都下のあるYSP店さんでは、以前に免許教室の会場やクラブのミーティングルームに使っていた店舗2階を、常連客のコミュニティ・スペースとして開放することでこの悩みを一挙に解決し、ご商売に好結果を生んでいます。

とくに、このスペースは、さまざまなインフォメーションボード（YESインフォメーションボードを利用）を設けてお客さま同士の情報交換の場としているのも好評の1因ですが、最近ではお客さまがお茶やお菓子を持ちよったり、中には自分のバイクの不用になったパーツを持参して、部屋の一角に飾り立ててしまったお客さまも現われるほどの人気ぶりです。

♡ファミリー客の増加に
ジュニア用品コーナー

ファミリーでモータースポーツを楽しむ、そんな傾向がここ数年目立って増えています。が、それに対応して福島県のT店さんでは、先ごろ改装オープンした新店舗の用品コーナーに、ジュニア用品「コーナー」を開設して人気を呼んでいます。

ヘルメット、ブーツ、プレストガード、ト



レーナー、ジャンパーなどオフロード・ギャが中心ですが、このジュニアコーナーの開設で用品コーナーもグンと幅が広がった感じ。「用品の点数そのものが少ないのが悩み」といながらも、訪れる家族客の反応に、社長さんの顔もついついほころびがち。レディース用品とともに、早急に充実させていきたいジュニア用品ですね」とも語っていました。

♡2階建ショールームの1階は
貸ガレージ

地方の販売店さんでは、自店所有の有休地を利用してモトクロスやトライアルの練習場などを開設、ご商売に役立てているケースが珍しくありませんが、愛知県豊橋市のN店さんでは、自店の空地に2階建の展示場を建設。2階はショールームにし、1階をお客さま向けの貸ガレージにして利用していただこうというユニークなプランを計画中です。

1階に、10、12畳のガレージを4ブロック設け、それをお客さまに月極めで賃貸しようというもの。

「最近では1人で何台ものバイクを所有するお客さまが増え、保管場所に困っている方も多いため、きつと喜んでもらえると思います」と社長さんも意欲的です。

♡やや遅れ気味、
バイク熱烈関心期

バイクへの熱中、これは少年期から青年期にかかる途中で男なら誰れでも一度はかかるピョーキ……などといわれたものですね。かつては、免許年令の16才を目安に、プラスマイナス2年程度の差で、このピョーキがピークに達していたのが「最近はいぶタイムラグが大きくなっているようだ……」と分析するのは名古屋市のM店さん。

「3ナイ運動などで高校生がバイクに接する機会が少なくなつたせいもあるでしょう」というわけ。16才おめでとう「DMとか、高校卒業おめでとう。DMなどももうすこしタイムリを考えないと、とも、「以前より3、4年遅れてバイクに夢中になるのでは……」というのがこの社長さんの見方です。

各界専門誌編集長が語る当世若者気質

Magazine & Magazine

Part. 3

MEN'S CLUB

編集長 小久保恵司氏



「メンズクラブ」

〔発行〕婦人画報社
 〔創刊〕1954年6月号より「男の服飾」という誌名で月刊誌としてスタート。その年にサブタイトルとして冠せられていた「メンズクラブ」がメインタイトルに採用される。現在は通巻290号(1985年3月号)が発売中。発行部数は公称35万部。
 〔読者層〕18-22歳の男性が中心。高校生から社会人1年生に根強い人気を集めている。
 〔編集方針〕着方のマナーブック。テーブルマナーがあるように、洋服にも冠婚葬祭以外にも日常的なマナーがあって然るべきということから、現代風の味付けをした着方の提案と、後学的な教養を展開している。
 〔編集内容〕大雑把に分けると、ファッションが6割で、カルチャーが4割。ファッションだけが一人歩きをしてはいけないということから生活感覚、実用的・機能的な側面からのファッション分析、着方のシチュエーションの提案…等を盛りこんでいる。
 〔編集長プロフィール〕1965年4月に婦人画報社に入社。「婦人画報」、「メンズクラブ」、「美しい着物」の編集部を経て、再び「メンズクラブ」へ戻り、1979年より編集長に就任。1941年4月2日生まれ、血液型O型。



歴史は繰り返しかえされるといわれますが、ファッション現象にも見られるように最近の日本はまさにその傾向にあり、テレビでは石原裕次郎の若い頃のフィルムがそのままCMに使われたりしています。いわば「温故知新」ブームといわれている現象です。ところで、「メンズクラブ」という男性ファッション雑誌は創刊して30年とか。大老舗なのですが、ここにきて売り上げが大急増なのだそう。さて、「メンズクラブ」の古くて新しいところは……。

トラッドとはシステム・ファッション

創刊30年という男性ファッション雑誌の大老舗ですが、まずはこの「メンズクラブ」をひとことで説明していただきますか。
 「男性ファッション」といっても多種多様ですが、そういう中において私どもの雑誌はト

ラッドと呼ばれる、いわばアメリカで生まれたファッションをメインにしているんです。ファッション分野でいえば、非常に限られた分野を相手にしていることになりました。非常に狭い分野ですネ。果してそれで雑誌が成立するものなのでしょうか。
 「いやいや、一見、狭いというけど、これが実に広いし奥深いんです。」

靴を売るのが靴の話はしない。それだけでいいから不思議

トラッドというのはトラディショナル、伝統の略語ですが、その名の示す通りそこには洋服の着方の基本があるんです。これは日本の着物と同じことで、40歳のおばさんは振り袖を着ないでしょう。ですから、雑誌の編集も、洋服のマナーやルール、着方のイロハ……といった部分を根底にすえてまとめていくわけです。

つまり、トラッドというのは、今こそひとつのファッション分野という認識ですが、実は非常に基本的な問題を内包しているということになるわけです。

「そうです。トラッド・ファッションの基本を具体的に言いますと、ナチュラルシヨルダ(肩パット無し)、絞りの無いウエスト、センターベント、ステッチ(緑の縫いとり)ということになります。ようするにパットが無くて肩がこらず、ウエストの絞りが無くて着



やすく、センターベントで行動の邪魔にならず、しかもステッチがかげられているので丈夫——という理由がそれぞれにあるわけです。それだけではありません。これはアメリカがお得意のシステム・ファッションなんです」

システム・ファッションや「アメリカという国は、本来伝統がないですよ。フランスやイギリスといった伝統で培われたセンスというものが無い。そこでどうしたかという、彼らはあるパターンを考え出したんです。」

つまり、トラッドがユニフォーム的といわれる所為ですが、洋服と同時にその着方、組み合わせ方も考え出したわけです。トラッドのルールにそって着れば、その組み合わせは自然と人品いやしからぬ、合理的なものになる。システムに敏感なアメリカ人ならではの発想ですよ」

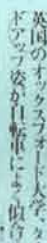
トラッドとは流行ではなく主張

パターンが決まっている。ルールがある。だからどのように着ても、基本の柱から外れないわけです。

「そうです。しかも、これは流行という一過性のもではありません。その裏には生活と



OXFORD



英国のオックスフォード大学、タイ
ボウフ姿が自転車に乗る人々

「ええ、これはトラッドが保守的なファッションというところからくるので、反体制の時代はダメでしたね。つまり、ベトナム戦争の時代は日本はもとより本場アメリカでも若い人たちは誰も着なくなっちゃった。みんなヒッピーになっちゃったんですね。戦争を引き起こした連中の格好はしない」と言っただけで世の中が落ち着けば、リクルートファッションとかいってみんなトラッドに戻ってくる。そのうち「ドレス・フォー・サクセス」(成功するため服装術)なんて本がはやるようになる(笑)。とくにこの10年間は非常に

「トラッドを着るといって、無駄の無い合理的な生活をしているんだ」という主張になるわけですね。

「トラッドというのは、ファッションでありながらファッションじゃない。基本スタイルやルールは変わらないわけですから、これは流行のことはではないんです。言ってみれば、男は流行に追われてチャラチャラしない」という主張を持つことになりました。

「それは面白い。近頃、ウチの本にも女性読者が増えてきたんですが、私が考えるに今までの女性は男のために着飾っていたのだと思うんです。ところが、ウチの読者は、洋服は自分のために着る」という人が多いですね。自分の好みに合う人から好かれればいいんです。では、女性はどうなるのでしょうか。

「それは面白い。近頃、ウチの本にも女性読者が増えてきたんですが、私が考えるに今までの女性は男のために着飾っていたのだと思うんです。ところが、ウチの読者は、洋服は自分のために着る」という人が多いですね。自分の好みに合う人から好かれればいいんです。では、女性はどうなるのでしょうか。

「ところで30年といえば、トラッドが流行ではないとはいえ、その間、浮き沈みがあったと思うのですが。」

「ええ、これはトラッドが保守的なファッションというところからくるので、反体制の時代はダメでしたね。つまり、ベトナム戦争の時代は日本はもとより本場アメリカでも若い人たちは誰も着なくなっちゃった。みんなヒッピーになっちゃったんですね。戦争を引き起こした連中の格好はしない」と言っただけで世の中が落ち着けば、リクルートファッションとかいってみんなトラッドに戻ってくる。そのうち「ドレス・フォー・サクセス」(成功するため服装術)なんて本がはやるようになる(笑)。とくにこの10年間は非常に



に保守的な時代で、ウチの本も売り上げを伸ばしています。

とはいえ、トラッドだからって、いつの時代も同じかというと、そうじゃない。基本の柱はそのままですが、その他の部分では他ジャンルのファッションをうまく取り入れている。その時代、その時代と一緒に生きていくわけですね。クラシックとトラディショナルとの違いがこれですよ。太い、しっかりした柱に支えられながら、うまく時代性を取り入れている。ここがトラッドの強さだと思います。

「トラッドの歴史の中でも、とくに印象的な現象というところがあることがありました。やはりヘビィデューティ・ブームが一番強烈でしたね。ダウンベストとか流行したでしょ。機能性とファッション性が結びついた代表的なケースです。バイクファッションも、その機能がファッション性とうまく結びつく」と大ヒット間違いなしなんでしょうね。

「古くて新しいというのは、まず基本がしっかりしていることが大切だと。」

「その点、今の若い人はオシャレに対してテイストが固まってきているので、自分が必要と考えたものには高価なものでもお金を惜しみません。テイストさえ合えば自己主張のためにどんなものでも手に入れる。衝動買いはしないでじっくり選んで買う。高くても長持ちするもの、3度のバーゲン買いより1度の高級品買いをする傾向にあるんです。」

3度のバーゲンより1度の贅沢

「目が肥えてきた」ということは、必然的にトータルコーディネーションにも気を配るよ

「目が肥えてきた」ということは、必然的にトータルコーディネーションにも気を配るよ



この春プリントに注目

「新宿にミロードという小さな靴屋があるのですが、ここがものすごくはやっていて、すね。覗いていると、お客に靴を勧めないわけですよ。それで、何を話しているのか聞いてみると、ファッションの話や生活の話をしてるんです。で、そのうちに話も靴の方に下りてくるんですけど、店長のファッションに対する考え方がしっかりしているんです。お客は兄貴に相談するような意識になっちゃっているんですね。」

「靴を売るのが靴の話をしてない。ファッションの話をするわけですね。」

「そう。彼が売っているのはライフスタイル、生活に対する考えなんです。この辺が変ってきたなあって感じますよ。」

「バイクの話を売るにもバイクの話ばかりではダメ。(笑)」

「ファッション雑誌を売るにも、ポリシーの話をする。(笑)」

情報スクランブル

●お忙しい販売店さんのための情報アンテナ

BOOKS

●ノスタルジックワールド第2弾
『カタログ・コレクション
日本のオートバイパート2』

2年前に出版されて好評を集めた『カタロ



グ・コレクション』のパート2。'69年から'80年までの12年間に登場した国産オートバイの中から、ジックリ選択された94台分のカタログが収録されている。著者いわく、オートバイがもつともオートバイらしかった'70年代を振り返るのも楽しい。

片岡義男・柏秀樹著 双葉社/¥2200

●アメリカ大陸と旅の醍醐味
『ブルー・ハイウェイ/アメリカ漂流』

おんぼろパンに最小限の荷物を積んで放浪



の旅に出た、インディアンと白人の混血青年がつつる大陸紀行。アメリカ裏街道2万キロを走った貴重な体験とスピリットは、そのまま国内二輪ツーリストのバイブルともなるだろう。

ウィリアム・リースト・ヒート・ムーン著
・真野明裕訳 TBSブリタニカ/①②とも
¥1300

DISK

●実力と人気でチャート急上昇中
『VISION QUEST』

ヤングから圧倒的人気を集める話題のアーティスト、ジャーニー、マドンナ、フォリナ



ーなどの新曲が盛り込まれた、映画『ビジョン・クエスト』のサウンド・トラック盤。
GEFFEN (USA) / ¥2380

WAVE-BESTS

音と映像のニューメディアスペース、東京・六本木「ウェーブ」からの最新レコード情報、洋楽LPレコードのベスト5です。BGMもヤングの集客にとっては大切な要素、ご参考どうぞ

1位チャイニーズ・ウォール/フィリップ・ペイリー、2位ライク・ア・バージョン/マドンナ、3位Agent Provocateur/フォリナー、4位マイク・イット・ピック/ワム、5位エリックカルメン/エリックカルメン

GOODS

●ポケットに入る心強い味方
『モト・ウーノ・モーター
サイクリスト手帳』



ライターにとって本当に役立つグッズといえるのは数少ないが、これは便利なライダー専用手帳。ダイアリー、アドレスの通常機能に加えて、ツーリングプランシート、初歩のメンテナンス法、ツーリングトラブル対処法、全国サーキット情報、免許ガイドなど盛りだくさんの内容で、乗車時の携帯品として手放せない便利モノ。
問い合わせ 第一コミュニケーション ☎03 (261) 2706 / ¥1200

EVENT

●いよいよ開幕、今年最大のフェスティバル
『科学万博・つくば'85』

21世紀を創造する科学技術ビジョンを世界に示す一大フェスティバル『科学万博・つくば'85』がいよいよ3月17日(日)より9月16日までの184日間に渡って開催される。国内外の第一線企業が各パビリオンで科学



の粋を競う中、「スペース・ハイウェイ」、「スペース・シネマゾーン」、「カーテックプラザ」、「ハイモーター・スクエア」などの展示で、(社)自動車工業会より出展の「くるま館」が開催を間近かにして、大きな話題を集めている。
会場・茨城県筑波学園研究都市

●未来への予感
『'85第4回JAAイラスト展』

日本自動車アーティスト協会(JAA)による最新カーデザイン展。今回は特別コーナーとして、世界的なインダストリアル・デザインナー、ルイジ・コラーニの作品6点も展示される。
会場・株ブリヂストン本社1階ショールーム(東京駅より徒歩5分) ☎03 (567) 0111 / 会期・3月29日まで開催中(期間中無休) AM9時からPM6時まで

●開催まじか!
『第14回東京モーターサイクルショー』

内外の新車、カスタムバイク、クラシックバイク、特殊車など400台が展示される「東京モーターサイクルショー」の開催間近。お客さまとともに、ぜひご来場ください。
会場・東京流通センター ☎03 (767) 2111 / 会期・3月21日から24日 (AM9時からPM5時まで) / 入場料・大人¥1000、中学生¥800、小学生¥200
※会場には二輪・四輪とも駐車場完備

●懐かしのレーサーが勢揃い
『C.R.M.レーシング』

'45年より72年までに生産されたレーシングマシンを対象としたC.R.M.(クラシック・レーシング・モーターサイクル)のサーキット走行会。参加はバイクを愛する人なら誰でもOK。
走行会・6月26日・筑波サーキット/C.R.M.レーシングパレード・8月1日・筑波サーキット/問い合わせ・株オオタ ☎03 (934) 6666 (11時から15時まで)

家族連れでにぎわう スノーモビルフェスティバル



スノーモビルが飛行。アトラクションのジャンプ大会では、PZ480で7m70cmの記録も出現

（北海道ヤマハ機）スノーモビル（PZ480）が8m近い豪快なジャンプを披露して、5000人の来場者は拍手喝采。これはヤマハ北海道機と道新スポーツの共催で1月27日に開かれた「スノーモビルフェスティバル」のアトラクションのひとつコマです。

この日、会場の札幌・八紘学園農場特設会場ではスノーモビルレース、3輪バギー耐久レース、一般試乗会、親子同乗試乗会、雪中宝さがしなどに、家族連れの笑顔があふれていました。中でも一般試乗会と親子同乗試乗会には、260名の方が参加して人気も最高。なお、2月末にも今シーズン2度目のフェスティバルが開かれましたが、スノーモビルは完全にアクティブなウインタースポーツとして道産子の間に定着しているようです。



親子同乗試乗会も人気のまじ

（ヤマハ九州機）年間を通して、もっとも郵便物の集配量が多くなる年末年始。この時期になると全国各地の郵便局さんでは、非常勤と呼ばれるアルバイト学生さんによって、膨大な量の年賀郵便をさばっています。

さて、ここ福岡県北九州市にある折尾郵便局さんと門司港郵便局さんでは、全国に先がけて、このアルバイト学生さんの安全運行を図るために「ヤマハ安全運転教室」を取り入れた「年末年始・郵便配達アルバイト生・安全運転研修会」を実施しました。

折尾局さんではアルバイト生30名が昨年の12月25日に、門司港局さんでは20名が12月27日に、それぞれの局裏の駐車場を使った特設コースで走行訓練を受けました。訓練内容で特に工夫されたところは、実務状況に近づくため、それぞれのオートバイに20kgから30kgの荷物を積んだ点。オートバイには乗れても大量の荷物を積んでの走行は未経験という学



↑年賀状を配達するアルバイト学生運送さんへの安全運転教室は、全国初めてのケース

「年賀郵便」の安全配達に 「ヤマハ安全運転教室」がひと役

生たちだけに、かなりハードな内容となりましたが、その成果は、みごとに立証されたのです。

「仕事が集中する時期というのは事故の集中期でもあるわけですね。しかも事故は仕事に不馴れなアルバイト生が起しやすい。毎年1〜2回は転倒などの事故があるんですが、今年はおかげさまで1件も起きませんでした」とは折尾郵便局・大塚庶務会計課長さん。

「雇用段階での事故防止策を図らなければとかねてから思っていました。局単位でできることには限度がありますからね。その点ではメーカーさんの安全教室を利用させてもらったというのは、内容もシビアなものとなつてとても良かったと思います。またアルバイト生だけではなく、他の乗務員にもとても良い刺激となったようで、局内の安全意識を盛り上げるのにも役立つと思います」とは門司港郵便局・持永庶務会計課長さんのお話です。



「局内の安全気運も盛りあがってくれました」と持永課長さん（門司港郵便局）



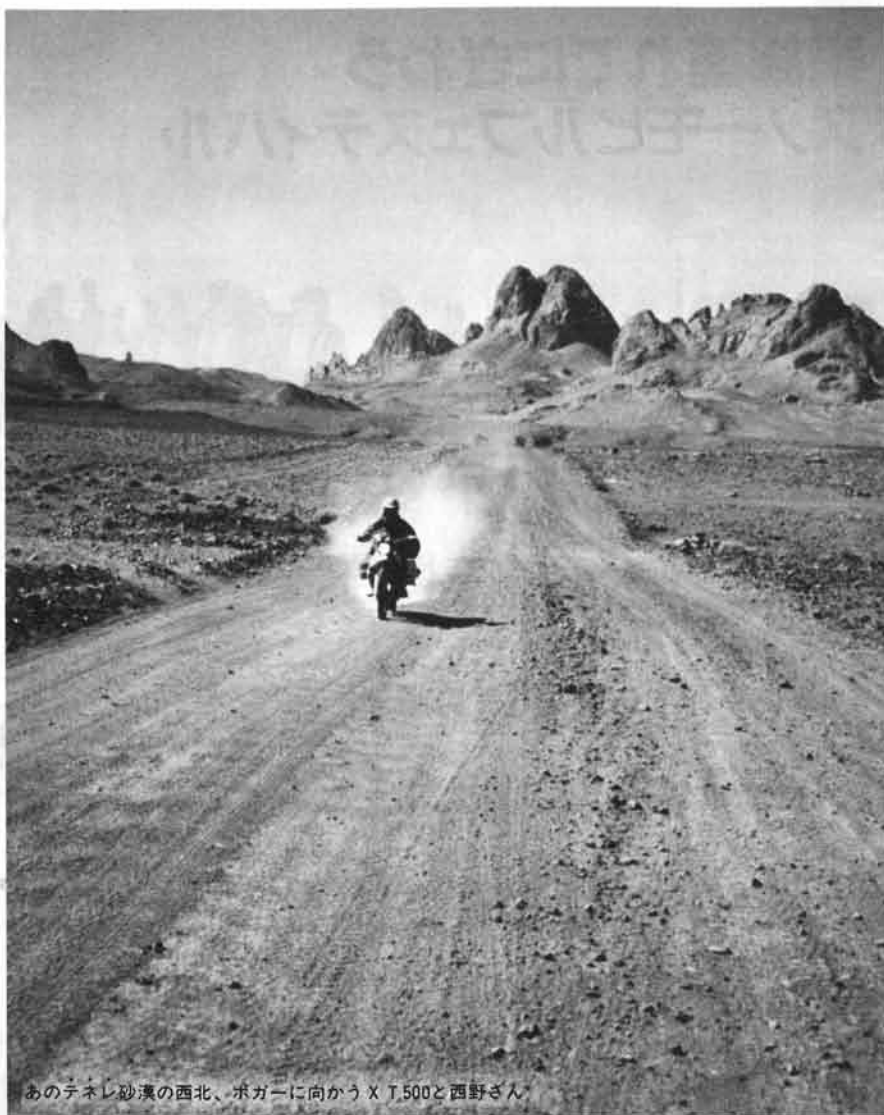
「おかげさまで今年は無事故でした」と大塚課長さん（折尾郵便局）



「本当の砂漠の上って60km/hくらいだとバイクが沈んじゃって前に進まない。70-80km/hくらいでバイクを浮かす感じでないと前に進まないんです」とサハラ越えを説明する西野さん(左)と星野社長

XT500で3年間 世界36か国・14万kmを走破!

「日本を出発するとき、XT500では少し大きすぎるかな」とも思ったんですが、いざアマゾンの奥地に行くと、XT500のすばらしさが体験できました。'81年の11月に空路成田を出発。ロサンゼルスまでトートしてアメリカ横断、南アメリカに渡ってアマゾン横断、そしてアフリカに渡ってサハラ走破、さらにヨーロッパに渡ってアムステルダムまで。3年の歳月をかけて世界36か国、14万kmを走破した西野始さん(27歳・静岡市)がこのほど無事帰国しました。出発を目前に控えた'81年10月の一か月間、西野さんにメンテナンスの特訓を指導した星野モータースさん(静岡市・星野幸男社長)では今、西野さんと星野社長とが3年ぶりの再会を喜びあい、西野さんのお土産



あのテネレ砂漠の西北、ボガーに向かうXT500と西野さん

西ドイツ人カップルXT500で世界一周! 21か国目、XTのふるさと日本へ



↑去る11月、横浜港に着いたK・メッツさん(右)とK・シューベルトさん(左)。そして2台のXT500にとっては、思いもよらぬ嬉しい里帰り
←有名なエアズロックをめざしてオーストラリアの草原も走破

仲の良い西ドイツ人カップルが、世界一周の途中本誌編集室に立寄ってくれました。このお2人、実は'81年の8月にケルンを出発、2台のXT500を駆って世界一周めざし走破中というクラウディア・メッツさん(24歳)とクラウス・シューベルトさん(26歳)。すでに、中近東からオーストラリア、東南アジア諸国など20か国を走り抜き、走行距離も7万kmを超えています。

「私たちの目的は、世界の国々の文化や伝統を理解し、たくさんの人と友達になること。力強いヤマハのバイクがあれば、砂漠でもジャングルでも平気。泥沼にはまったり、飲水に困ったり、ジャングルで道に迷ったりしても、バイクが私たちが元気づけてくれるんです。自然と野性動物に囲まれながらキャンプしたり、バイクの点検・修理をするのも私たちの楽しみ。これからは韓国、中国、アメリカ、そしてアフリカを訪る予定」とシューベルトさん。

ふたりの予測では、再びケルンに戻るときには27万kmを走ることになるとのことです。



↑悪コンディションも何のその、吹雪の中を突いて走る湯浅さんとXT250T



吹雪とアイスバーンに挑戦 厳冬の北海道二周2878kmツーリング

〔北海道ヤマハ株〕「厳冬の雪道でのオートバイ走行の限界性を知りたい」と、昨年12月26日に札幌をスタート、XT250Tを駆って全道2878kmの雪路に挑戦した湯浅敏広さん（31歳・小学校教諭）が、2週間かけてこのハードな目的をみごとに達成しました。札幌、留萌、稚内、網走、然別湖、苫小枝、函館を結ぶコースは、アイスバーンと圧雪が80%という路面状況。しかも天候は70%が雪と吹雪というコンディション。そんな中でモーターサイクルの無限の可能性を実証してくれたのです。

キャブレターには四輪用チューブでカバーを施し、前後輪とも特製スパイクタイヤを装着。登山用下着に毛の下着、スキー用シャツにセーターを重ね着、そしてヤッケ、羽毛入りの防寒スーツ、グローブと靴下も2枚重ねとして無事走破した湯浅さんは、こう話しています。

「最低気温マイナス20度、最高気温マイナス3度という状況の中でも、XT250Tに故障・不調は皆無。マイナス20度のときでも、エンジンは確実に始動してくれました」

この厳冬ツーリングの貴重な体験をバネに、湯浅さんは今、今年12月末からの「アフリカ大陸縦断単独行」に向けて、計画を練っています。



1年7か月をかけてチャレンジしたアフリカ大陸縦断のヒトコマ

「とにかくXT500はタフ。14万kmを走破してほとんどノントラブル。途中エンジンのオーバーホールは1回。ロッカーアーム、ピストン、ピストンリング、バルブを交換しただけ。給油をしっかりしたのでワイヤー切れもまったくありませんし、クラッチ板も14万kmノントラブル。標高4960mのアンドレス山脈でも、ノーマル240#のメインジェットでスイスイ。ガソリンの質が悪くてキャブのバルブにタールが付着してしまったときでも、軽油を10%ほど混ぜれば走ってくれる」とXT500の信頼性を熱く語る西野さん。

「アフリカでは骨折したまま2週間、病院を探して2千km走ったことも。スパイと間違えられて逮捕されたことも。そしてまた、槍を持ったマサイ族に追いかけられたことも……」

でも、やっぱりいちばん思い出に残るのは人間のやさしさ。さまざまな国の、多くの人びとがやさしく歓迎してくれたこと……チャンスがあれば、また行ききたい」とも。

そしていまお2人は、もうすぐ横浜港に着くパートナーXT500の到着を心待ちにしています。



'85ヤマハ・ライダーたち あらたなる栄光をめざす

モータースポーツの振興とモーターサイクル技術の革新をめざして、今シーズンも活発に展開されるヤマハのレース活動。その中心となる各部門のチーム構成と出場ライダーのプロフィールをご紹介しましょう。彼らの活躍が、また新しいヤマハの記録、ヤマハの技術をつくり、市販車の性能、品質の向上を促進します。

(ファクトリーロードレーサーYZR500、FZR750は、8ページにご紹介しました。あわせてご参照ください)

世界選手権ロードレースシリーズ ロソン、ロッシュ、サロンでYZR旋風を



エディ・ローソン
●アメリカ●'58年3月11日生(26才)
●'84年世界G P 500ccチャンピオン



レイモンド・ロッシュ
●フランス●'57年2月21日生(27才)
●'84年世界G P 500cc 3位



クリスチャン・サロン
●フランス●'55年3月27日生(29才)
●'84年世界G P 250ccチャンピオン

E・ローソンとヤマハYZR500の最強コンビがV2を目指すロードレースの最高峰GP500ccクラスには、ロソンに加え新

世界選手権モトクロスシリーズ タイトル奪還へ燃えるカーラー

世界選手権モトクロスシリーズは、500ccクラス1本に焦点を絞り、YZ490改によるチャレンジを展開します。ライダーは、2年ぶりのタイトル奪還に燃



ハカン・カルキビスト
●スウェーデン●'54年1月15日生(31才)
●'83年500cc世界G Pチャンピオン、'84年同10位

たにR・ロッシュと昨年の250ccチャンピオンC・サロンが出場します。マシンは、いずれもYZR500。ロソン、ロッシュはヤマハ・マルボロレーシングチームから、またサロンはチーム・ソノート・ゴロワーズからの出場です。

えるハカン・カルキビストと新鋭レイフ・バーソンのスウェーデンコンビ。いずれもヤマハのヨーロッパ現地人YMEENVチームからの出場です。



レイフ・バーソン
●スウェーデン●'64年7月6日生(20才)
●'84年スウェーデンナショナル500cc2位

AMAナショナル・モトクロス選手権シリーズ 少数精鋭で全シリーズにチャレンジ

いまや世界GPをもしのぐハイレベルなレース展開で人気を集めるアメリカの国内シリーズ、AMAモトクロス選手権シリーズは、500cc、250cc、125ccの3クラスに各1名の布陣。

YZ490改による500ccクラスでは、

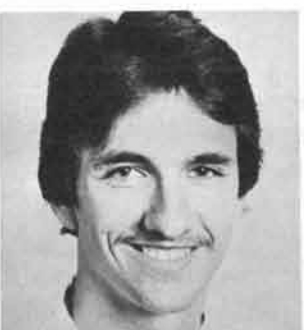
日本でも、たいへん人気の高いブロック・グロバーが、YZ250改による250ccは、昨年の同クラス・チャンピオン、リック・ジョンソンが、さらにYZ125改での125ccクラスにはキース・ポーエンがそれぞれ挑戦します。



ブロック・グローバー
●アメリカ●'60年5月16日生(24才)
●'84年AMAナショナル500cc 2位



リック・ジョンソン
●アメリカ●'64年7月6日生(20才)
●'84年AMAナショナル250ccチャンピオン



キース・ポーエン
●アメリカ●'66年4月28日生(18才)
●'84年AMAナショナル250cc 6位

また、この3ライダーは、YZ250改を駆ってスーパーモトクロスシリーズにも出場します。チームは、YMU Sチーム。

全日本選手権ロードレースシリーズ 最強の布陣でA500、F1、F3に出場

最高の人気を集める全日本選手権ロードレースシリーズには、3年連続の日本一を目指す平忠彦と大ベテラン・河崎裕之のゴールデンコンビが、YZR500で国際A級500ccクラスに出場。

さらに、昨シーズンからXJ750改でF1レース出場をつづけていた上野真一が、F

Z750と同時開発のファクトリーレーサーFZR750を駆って、国際A級F1レースに挑戦。

また、国際A級F3クラスには、チャンピオン江崎正が、一段と熟成度を高めたFZR400で出場します。



上野真一
●京都府●'51年6月7日生(34才)
●'84年鈴鹿8時間耐久レース5位、国際A級500cc・同F1クラス9位



河崎裕之
●京都府●'45年10月31日生(39才)
●'83年、'84年全日本選手権・国際A級500cc 3位



江崎正
●兵庫県●'49年1月5日生(36才)
●'84年全日本選手権・国際A級F3クラスチャンピオン



庄司 寛
●宮城県●'59年3月13日生(25才)
●'83年全日本選手権・国際A級125ccチャンピオン、'84年同7位



光安鉄美
●福岡県●'58年1月27日生(27才)
●'84年AMAナショナルモトクロス挑戦



加藤文博
●茨城県●'48年11月17日生(37才)
●'84年全日本選手権・国際A級8位



伊藤敦志
●愛知県●'58年1月28日生(27才)
●'84年全日本選手権・国際A級3位



伊藤敦志
●愛知県●'58年1月28日生(27才)
●'84年全日本選手権・国際A級3位

全日本選手権モトクロスシリーズ 期待の元チャンピオンたち

全日本選手権トライアルシリーズ 楽しみなベテラン・新鋭コンビの活躍!

全日本選手権モトクロスシリーズは、国際A級250ccに光安鉄美、同125ccに庄司寛の2選手がチャレンジ。

そして、昨年からの不振脱出をめざす'83年チャンピオン庄司の活躍が期待されるところで。マシンは、いずれも市販モトクロッサールイターとしてさらに大きく成長した光安、YZ改。

TY250改による全日本選手権トライアル、国際A級への出場は、ベテラン加藤文博と新鋭・伊藤敦志の2人。

からの著しい進境が、大いに注目されている伊藤。目の離せない、TY250改コンビの活躍となることでしょう。

モータースポーツ・トピックス

光安選手、結婚!



昨年のアメリカ単身武者修業でまた一段とスケールアップし、今シーズンの活躍が特に期待されているミスターMX・光安鉄美選手が2月17日、めでたく結婚しました。新婦は、御年24才の真千代さん。2年前ヤマハ・サマーフェスティバル・イン・九州で顔を合わせたのが、キッカケとか。博多市内のホテルで行なわれた披露宴には、ライダー仲間やレース関係者多数が詰めかけ、お2人の新生活へのスタートを盛大に祝っていました。

YZ250改コンビ スーパークロス序盤戦をリード

AMAスーパークロスシリーズは、1月26日カリフォルニア州サンディエゴで、14戦にわたるシリーズをスタート。この開幕戦では、第1ヒートB・グローバー、第2ヒートR・ジョンソンとYZ250改コンビが1位を独占して、幸先きよいスタートを飾りました。つづく第2戦、2月2日、カリフォルニア州アナハイムでも、この2人は快調で第1ヒートはジョンソン、第2ヒートはグローバーが、またも制覇。地元のヤマハファンを狂喜させています。シリーズポイントでも、グローバー61点、ジョンソン59点と、ワン・ツーでリード。シリーズ戦の展開が、大いに楽しみなところです。

トライを加えたスプリンター・トリオでの春ヤング・スクーター需要を拡大!



シヨクとキャンプで切り拓いたヤング・スクーター需要をさらに拡大するために、このほどトライを新発売したことは本誌冒頭のカラージでもご紹介しましたが、このトライの新発売にあたっては以下の導入キャンペーンを実施しますので、皆さまのお店でも積極的な展開をおすすめください。

(1) TRY・ON作戦

トライの走りダイレクトにアピールするのが、このトライ一斉試乗キャンペーン・トライ・ON作戦です。キャンペーン用ツールとしては、①試乗会告知DMセットのほか、②トライスピードくじセット、③試乗会告知清刷集、④トライ展示試乗会用横幕を用意。そのほかにも次に紹介するプレ

ミアムセールの各種ツールが揃っています。皆さまの店頭はもちろん、展示会場や職域大学、コンビニエンスストアなど、ヤングが集まる場所に積極的に打って出て、トライデモカーによる試乗アプローチを展開してください。

(2) TRYプレミアムセール

トライ一斉試乗キャンペーンと連動して展開するのが、このトライプレミアムセールです。トライを成約したお客さまにプレゼントするプレミアム用品は、文房具キット7点セット。店頭展示試乗会や出張展示試乗即売会をはじめ、ヤングが集まるコンビニエンスストアや24時間営業レストラン、大学のサークルやクラブ、さらには新入学・新入社シーズンの下宿街や寮などに

的を絞って、プレミアムセール告知DMやポスターによるアピールをお図りください。

(3) 店頭POPの充実

ヤングの意識や行動をとらえて、店頭においても効果的なトライの訴求を行なってください。店頭POPツールは、①シーリングPOPセット、②ハンドルPOP、③のぼり、④ブライスピラ、⑤新発売告知ピラ、⑥トライロゴ型ウインドウシール、⑦試乗車ステッカーの7点。そのほか、ヤングの好むファッショングッズやスポーツグッズを利用して、遊びどころあふれるトライの店頭ディスプレイを演出してください。

※詳しくは、担当セールスマンまでお問合せください。

SALES

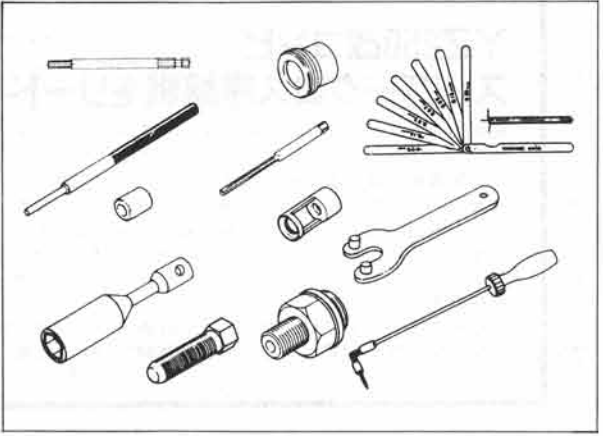
ヤマハ整備用機器と工具(スプリングセール実施中)(4月15日マデ)

いまヤマハでは、お店の整備業務にご活用いただいております整備用機器の特別セールを実施しています。

今回の特別セールにおける対象ツールは以下の80品目ですが、いずれも大幅な割引価格を設定。販売店の皆さまにご満足いただける内容で幹旋させていただいております。この特別セールを利用して、サービスコーナーの機器の充実をお図りください。

〈特別セール・対象ツール一欄〉

- ① バイクリフト(ストッパ付)
- ② マルゼンミニクレーン
- ③ ミニスティムクレーナー
- ④ パッケージコンプレッサ(1000V)
- ⑤ エアコンプレッサ(1000V)
- ⑥ (1000V/50Hz)
- ⑦ (1000V/60Hz)
- ⑧ (3相・2000V/50Hz)
- ⑨ (3相・2000V/60Hz)
- ⑩ オートドレンスルーサー
- ⑪ パーツクリーナー
- ⑫ 作業台
- ⑬ キャデイツールスタンド
- ⑭ パーツスタンド
- ⑮ パーツワゴン
- ⑯ ハンディエアリー
- ⑰ コイルホース
- ⑱ タイヤゲージ
- ⑲ タイヤゲードブライヤー
- ⑳ 二輪車用業務充電器
- ㉑ エアガン
- ㉒ エアラインバクトレンチ(3/8)
- ㉓ (3/8)セット品
- ㉔ (1/2)
- ㉕ エアードライバー(3/8)
- ㉖ (ネジ径4-5mm)
- ㉗ 電気ドリル(10mm)
- ㉘ (13mm)
- ㉙ ドリルセット(21本組)
- ㉚ 電気グラインダー(1500mm)
- ㉛ タイミングライト
- ㉜ バキウムゲージ(VA-140M)
- ㉝ コンプレッションゲージ(GU-2BM)
- ㉞ オイルプレッシャーゲージ(FP-31)
- ㉟ ヤマハホケツテストター
- ㊱ (温度計付)
- ㊲ ターミナルキットA
- ㊳ ヘリサートキット
- ㊴ (プラグ用)
- ㊵ フォークシールドライバーセット
- ㊶ NEWハスココペアリングブローラーセット
- ㊷ ハスコオイルシールブローラー
- ㊸ マイティドライバー
- ㊹ ラジエターキップテスター(RC-3BY)
- ㊺ 小型アダプターテスター(RC-3BSY)
- ㊻ ハンドタッカー
- ㊼ ベアリングレースブローラーセット
- ㊽ ミニグラインダー(パンク修理用)
- ㊾ エアチャックゲージ
- ㊿ トルクレンチ(3/8)
- 1 トラックスメカニックキットD
- 2 メカニックキットC(3/8タイプ)
- 3 デイブソケットレンチセット
- 4 ソケットレンチセット
- 5 ヘックソケットレンチセット
- 6 タップダイセット
- 7 T型ホローレンチセット(6本組)
- 8 ノギス(1500mm)
- 9 (2000mm)
- 10 ポリメスシリンドラー(2500cc)
- 11 (5000cc)
- 12 デブコンF(500g)
- 13 耐熱性
- 14 2サイクル車用特殊工具セットA
- 15 2サイクル車用特殊工具セットB
- 16 ゼネレーターズベシヤルツールキット
- 17 FZ750/250用特殊工具セット
- 18 DIDドライブチェーンツール
- 19 温水洗車機(1000V)



- 北海道ブロック
 - 期日/8月3・4日
 - 会場/ルスツ高原特設会場
 - 内容/SLMトクロス・SLカートレース、三輪バギーレース、6時間耐久スクーターレース、前夜祭、キャンプ
- 東北ブロック
 - 期日/8月3・4日(カートは8月11日)
 - 会場/スポーツランドSUGO
 - 内容/3時間耐久ロードレース、SLモトクロス、SLトリアル大会、サイキット体験走行、前夜祭、キャンプ
- 関東ブロック(中部ブロック)
 - 期日/7月20・21日
 - 会場/富士スピードウェイ
 - 内容/SLモトクロス、SLトリアル、

ご期待ください！'85サマーフェスティバル
 毎年恒例の真夏の祭典、SLサマーフェスティバルのスケジュールが決定しましたのでご案内しましょう。

- 関西ブロック
 - 期日/8月3・4日(カートは8月25日)
 - 会場/大山鏡ヶ成キャンプ場
 - 内容/キャンプ、その他イベント
- 中国ブロック
 - 期日/8月3・4日(カートは8月25日)
 - 会場/未定
 - 内容/未定
- SLカートレース、SLスクーター耐久レース、国際A級ロードレース模範走行、FISCOロード体験走行、有名ライダーサイン会、バイク用品即売、オリジナルグッズ即売、バイク展示、オリジナルデモンストラクション、SRミーターリング、ライティングインタビュー……他



※詳しくは、担当セールスマンまでお問合せください。



SLトリアル教室を皮切りに、ヤマハでは数か月のオフロードライディングをテーマにしたスクーリングを開催して、オフロードランの楽しさを広く訴え続けてきましたが、今年より新たに「オフロードYRS」を開催、

「オフロードYRS」の概要
 ●目的/不整地における正しいライディングの基本を普及するとともに、オフロード走行の楽しさを広く知らしめる教室です。
 ●対象/スクーターやオンロードスポーツの

さらには大きなオフロードスポーツの普及をめざして行きます。
 これは、従来のスクーリングが、受講者の技量向上やマシン性能の向上などによってモトクロス教室に近い内容となり、オフロードへの入門コースとしての役割が薄れてきたことからそれを補うために企画したもので、再度、原点に戻りスクーターやオンロードスポーツ車のユーザーにオフロードの魅力を感じさせようというのが第一の狙いとなっています。
 以下に「オフロードYRS」の概要を説明しますので、皆さまのお店でもオフロードユーザーの新規開拓にご活用いただくようお願い致します。

- 特徴/①ステップ方式の設定
 受講者のレベル審査により向上意識を刺激して、次へのステップアップ化が図れ、継続性も高まります。
- ②技量別クラスの設定
 同一レベルの受講者に対する指導が行なえるため、指導がしやすくなったと同時に、受講者の満足度もさらにアップさせることが可能となりました。
- ③クラス別カリキュラムの設定
 クラス別と教習内容の統一により、入門者には入門者に合った楽しく危険の少ない教室を開催、また少し慣れた人にはもう一段上達したくなるような教室を開催して、各教室のレベルを維持し、受講者の向上意欲を高めます。
- 運営/販売店さまが単独で開催する場合と合同で開催する場合の2通りの運営システムを用意しています。開催準備や運営にあたっては、ヤマハ販売会社の営業所が協力させていただきます。

※注文方法についてのお問合せは、ヤマハ特約店・販売会社の営業技術課までどうぞ。

- ⑦ オイルドクター
- ⑧ セッスイドラム
- ⑨ 二輪車用タイヤチェーンジャー(100V)
- ⑩ 二輪車用ホイールバルancer(100V)
- ⑪ エアーキャリー
- ⑫ CO排気ガステスター
- ⑬ パワースバナセット
- ⑭ キムタオル(1200枚入)
- ⑮ バイクリフト(1柱式)

中途半端はダメ、ひた向きに モトクロスに打込む男たち



甲子園レーシング

YSP甲子園・西上正巳社長(兵庫県西宮市六湛寺町2-1-5)

ソフトな同好会的クラブが増える中で、ひたむきにモトクロスに打込もうという仲間だけが集まった硬派クラブ、それが今月訪問した『甲子園レーシング』さん。全員が規律を守ってスポーツを楽しむ……いかにも「スポーツクラブ」らしい、すがすがしいみなさんです。



●メンバーただ今15名

「甲子園レーシング」が活動を開始したのは、YSP甲子園さんの本店・甲子園モーターショップさんがオープンした昭和55年のこと。全日本モトクロス・ジュニアクラスでの優勝経験を持つ西上社長を中心に、本格的にモトクロスに取組んでみたい、という10人のお客さまが集まってスタートしたもので、以来レーシングに、レースにと活発な活動がづいていきます。

現在のメンバーは、高校生5名、大学生2名、会社員3名、自営業5名の計15名。年令も17才から30才と幅広く、巧く、速く、をめざしながらも和気あいあいとトレーニングに励んでいます。

お店のある西宮市から車で約1時間のところに新しくオープンした「エキサイティングモータースポーツ加西」が、「甲子園レーシング」のホームコース。1人1万5千円の年会費を払って、この施設のクラブ会員となっているために、それまでの河川敷コースで、他のライダーたちのマナーの悪さにイライラし、まわりの環境に気を使いながらの練習ともお別れ。みんな思う存分に、走りまわることができるようになったのです。

「練習のある日曜日でも、店があるから午前中しか私はコースにいません。みんなの走りを見物していて、気がついたことをアドバイスする程度です。でも、走りに来たら、何かひとつでも身につけて帰れよ、っていうもみんなに言ってるんです」と西上社長

●西上社長の情熱に支えられて

自分のライダー経験からモトクロスの普及に情熱を傾ける西上社長。それだけに入会希望の若者に対する姿勢にも、き然としたものがあります。

「17才や18才の若い子たちにはがんばってモトクロスに打込んでもらいたいと思ってるんです。勝てないからやめる」

お店のクラブ活動を通じてモータースポーツの普及に情熱を傾ける西上社長を中央に、YSP甲子園のスタッフのみなさん



そんな中途半端な気持なら最初からやらない方がいい。

モトクロスには危険も伴うし、お金もかかりますからね。思いっきり打込んで欲しいんです。その努力は、モトクロスを離れてもどんなところででも後立つし、さっと報われると思いますけど」

こうして、未成年者の入会の際には、親ごさんの同意書を頂き、ルールやマナーから厳しく指導している西上社長。先日は「喫煙した未成年クラブ員に反省を促すために頭を丸めてもらった」などというエピソードもあるほどです。

入会の条件は、ヤマハ車に乗っていること。レース主体のクラブですから、入会に当たっては希望者に、必要な道具、経費、時間などすべてを説明し、納得のうえで、入会していただいています。

●よきリーダーの育成も……

「でも、以前のように、モトクロスに賭けてみよう」という人は少なくなりましたね。モータースポーツもひとつのファッションになってしまった。ファッションで楽しむような人は、それなりにお金も使うでしょうから商売のことを考えれば、そんな人を募ったソフトなクラブの方がいいでしょう。」

でも、そんな中途半端はしたくないんです。それじゃ、このクラブをつくった意味もなくなってしまう。」

こうしてモトクロス一途の「甲子園レーシング」クラブ名を大書した2トンのパネルバンが、メンハートのマンソを積んで、練習場へレース場へと走り、またお店ではVTRによる反省やアドバイスが熱心にくりひろげられています。

「A級ライスターを育てたい、いやそれよりもモータースポーツの良き理解者、指導者を育てたい。それが夢なんです。」

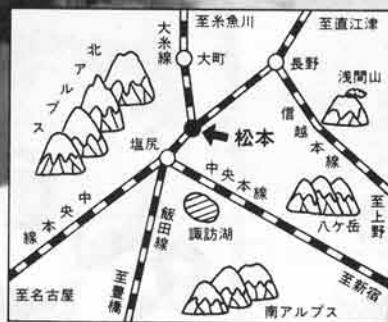
そんな西上社長の情熱が実って、今年度はヤマハ関西のS1モトクロスから、MFJ関西選手権そして全日本まで、20以上の大会への出場が予定されています。



多彩な広告宣伝、情報サービスで お客さまに幅広い満足感を



スタッフ全員が参加して、にぎやかな『いいんき』の編集会議。ライダーの立場で楽しい話題がとびかっている(中央が関社長)



株ウイング／関 始社長

長野県松本市芳川平田9-16
 ☎0263(86)0087

信州・長野県のほぼ中央・松本市は北アルプスをま近に望む美しい城下町です。ここで北は安曇野から大町市付近まで、南は諏訪から遠く飯田市一帯までと広く商圏を拡げてご商売しているのが『株ウイング』さん。今月は関社長に、この商圏拡大の原動力となっている多彩な広告宣伝活動に的を絞ってお話をうかがいました。

年間売上げの5%程度をお客さまに還元する気持ち

保険会社で7年間セールス経験を重ねていた関社長が、一転バイク業界に参入、『ウイング』さんをオープンしたのは、昭和54年4月のこと。

「従来のようなサービス力だけの店ではなく、スタッフ全員が1人のユーザーであることを忘れずに、ライダーを育てられる店。いつもお客さまの気持ちを理解し、外部に対してもお客さまの声を代弁してあげられるような店でありたい」という思いで、創業以来一貫してソフトウェア面の充実に取組まれています。

「広告宣伝というか、情報サービスが中心ですが、年間売上げの5%程度、ちょうどクレ

ジットの取扱手数料と同程度の子算をさいてやっています。これはやはり営業外利益だと割り切つて、それをお客さまに還元できれば、同時にバイクの市民権アップにつながるという思いでやっています。なにしろ、うちの商売の80%は、ビッグバイクの若者ですからね。

もちろん、将来に対する投資でもありますが、基本的に広告費手法とした量販とは全くちがいます。

松本市といっても、人口20万人足らず、やはり1人1人のお客さまを大切に、『ウイング』で買ってよかったという満足感を持ってもらえるようにしなければなりませんから」

年4回、季節ごとに発行する『ニコミ誌』いいんき

そんな活動の代表が、いまやお店の顔ともなっているニコミ誌『いいんき』の発行です。昭和58年の秋に週刊誌と同じB5サイズ、12ページ、オールカラーの季刊(3カ月に1回発行)でスタートしたもので現在8号目。カタチもB5変形・タテ長の28ページと膨らんできました。

「開店してしばらく経ってから店とお客さまの定期的なコミュニケーションとして、パソコンを使って毎月DMを発送していたんです。ところが、バイク本体のこと、用品や部品のこと、その他いろいろな周辺情報と、お客さまにお伝えしたい情報がどんどん増えてくるんですね。とてもDMではカバーしきれなくなつてミニコミ誌にしました。」

編集の基本は『ビバ・アイラブ・モーターサイクル』。ライダーとマシンにとって価値ある情報をいち早く提供しようというもの。

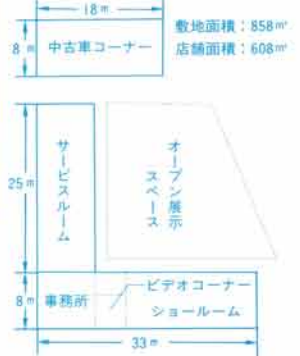
ツーリング中のピスサイン交換から、もう一歩前進したライダー同志のコミュニケーションを芽ばえさせられればと思っています。この『いいんき』現在7800部印刷さ



松本市元町に、用品専門の「モトハウス」を開いている。信州大学近くのこのお店は、もちろん商圏拡大の拠点ともなっている



←松本市周辺のライダーなら「知らない人はない」というほど人気の高い「いいてんき」をはじめ、昨年秋からスタートのTVCF、そして商品広告から安全運転の呼びかけまでの新聞広告、さらにウィング・オリジナルグッズ……も



↓ショールームというよりも喫茶室といったカンジの店内



↑「ウィング」さんは、本体と用品販売を完全に分離

既成の媒体にはないぬくもりが好評
最新号『いいてんき・8号』をちよつと覗いてみましょう。オフロードが特集。オフロードファンのお客さまが対談で、オフロードの魅力、楽しさを語り、林道を紹介したり、オフロードランに必要な用品の紹介、購入のアドバイスまで、いかにも、バイク雑誌「風」にまとめられています。

カタログとはひと味ちがった新車の紹介、先輩ライダーからビギナーへのアドバイス、クラブ紹介、ライダー紹介まで、いかにもミニコミ誌らしくイキイキとした情報にあふれ、登場する人の、また編集する人の体温が、そのまま伝わってくるような誌面がっついてい

「店の宣伝ばかりが目立つたり、自己満足が多くなったりしないようにいつも反省しながらやっています。今では、6人の従業員全員が編集スタッフとして参加。『お客さまが、いまま一番欲しい情報は何か?』を考えながら、毎号の特集を組んでいます。すぐネタ切れになるんでは……と心配して

「TSB(信州テレビ)に1日2〜3回のスポットを流し始めたんです。同時に、『ヤングポイント・スタジオ』という朝7時45分からの15分番組にもスポンサーになっていますので、ここでも流されています。

店の宣伝も去ることながら、スポーツバイクがテレビに登場することで、一般の人たちの理解が少しでも向上すればという気持ちです

ヤマハの輸出モデルFJ1100をお店のスタッフが走らせて、近くの美ヶ原で撮影したというこのTVCFはなかなか好評。

このように、ミニコミ誌からのTVCF、新聞広告、さまざまなイベントを通じての広告などさまざまな媒体を駆使して、お店の広告からバイクの社会的なイメージアップまで、きわめて幅広い広告宣伝を展開しながら、ご商売を拡大する『ウィング』さん。

「量販店のアタマで考え、専門店ハートの行動して行きます」と関社長の笑顔は、さわやかに輝いていました。

■話題のコーナー

走りは今、新・感性ステージへ

『85スプリング&サマー』
ヤマハラライディングウェア 新発売!

本格的なバイク・シーズンの到来にタイミングを合わせて、ライダーの遊びどころをかりたてるニュー・ライディンググッズがデビューしました。今シーズン、ヤマハラライディングウェアは7クループのシリーズ化。ロードツーリングやタウンユース、あるいはレース観戦やオフロード……と、多様なバイクシーンにフィットする商品構成で一層充実しています。

ここでは'85スプリング&サマーのニューグッズの一部をご紹介します。皆さまのお店でもスポーツバイクの皆さまももちろん、スクーターの皆さまをも巻きこんだ拡販キャンペーンをおすすめください。

詳しくは『85スプリング&サマー』ヤマハラライディングウェアご予約カ「タログ」をご参照ください。



●ロールバーン・ヘルメット

ベンチレーションシステム / 5段階ラチェット式開閉システム / 1.2mm硬化処理シールド / FRP製 / JIS・B種 ¥12,800

●georama スプリングジャケット

素材=綿100%、ウレタンコーティング / カラー=ホワイト・ブルー&レッド / サイズ=M、L ¥16,800

●ピュアスポーツグローブ

素材=レザー / カラー=ホワイト・グリーン&レッド ¥6,800

●georama サーキットジャケット

素材=420DナイロンOX・ラボック / カラー=レッド・ホワイト&ブルー、サックス・ホワイト&ブルー、イエロー・ホワイト&ブラック / サイズ=M、L ¥13,800



●georama ニューエイジジャケット

素材=210DナイロンOX、ナイロンタフタ / カラー=レッド&ブラック、ブルー&サックス / サイズ=M、L、LL ¥12,800

●georama レーシングブルゾン

素材=420DナイロンOX・ラボック、ナイロンタフタ / カラー=ブルー・レッド&ホワイト、サックス・ブルー&ホワイト / サイズM、L ¥14,800



●Y L 606 ヤマハラレーシングブーツ

素材=牛厚皮 / カラー=ネイビー&レッド&ホワイト / サイズ=24-27cmまで7サイズ ¥28,000

●Y L 504 ヤマハラレーシンググローブGR-1

素材=レザー / カラー=ネイビー&ホワイト、レッド&ホワイト、サックス&ホワイト / サイズ=M、L ¥9,800

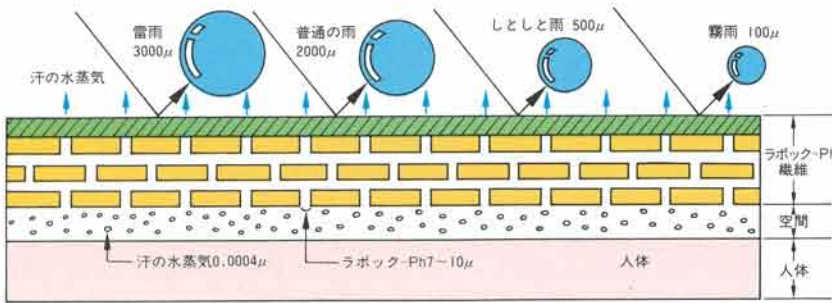


■ディスプレイ・ワンポイント

生活提案をしながら
ヤング需要を拡大しよう!

ヤング・スクーター需要を拡大するトライの新発売で、ますますスポーツライクな展開が見込まれるスクーター商戦。もちろんそれらのスクーターにセットしたオプション類の販売も忙しさを増しそうです。そこで今月は、ヤングスクーターユーザーにターゲットを絞ったディスプレイについてひとこと。

■ラボック-PHに見た透湿・防水機能の関係



機能が違うフヤマハグッズ
機能から質感までを配慮。ヤマハライディングウェア素材

●F3ジャケット

素材=カネボウラボック、KP-501/カラー=レッド/サイズ=M、L、LL ¥8,800



ライディングウェアの選択基準といっても人それぞれですが、特に大きなウエイトを占めているのがデザインと機能性といえそうです。とはいえ、素材ということになると、意外に関心が低いのが現実。素材そのものに対する認識が薄いために、ともすれば見落としがちになるのですが、実はこの素材こそライディングウェアの機能性にとって重要な役割を占めているのです。

そこで、今月は'85ヤマハライディングウェアに使用している新素材について、簡単に説明しましょう。

（ラボック-PH）

右頁で紹介したF3ジャケットやジオラマサーキットジャケットに使用している外装織物のラボック-PHは独自のポリエステル異収縮混織糸を使用して、高密度に織りあげた繊維です。

では、何がラボック-PHの特長かというと織物そのものでありながら通気性、透湿性、撥水性はもちろん防水性まで4つの機能を備えていること。従って今までのコーティングタイプの透湿・防水素材と比べて、織物本来の風合いを生かした感性重視のデザインが可能となったわけです。

前記のF3ジャケットやジオラマサーキットジャケットの取扱に当たっては、ぜひこの点を強調し、お客さまともラボック-PHのソフトな風合いとシルキーな光沢をお確かめください。

（ジムスター）

こだわりのライダーのための高感度ウェアとして新発売したのがジムスターブルゾン。精悍でファッションアブルなカラーがひとときわ

を惹きますが、このブルゾンに使用している素材がジムスターです。

スポーツ素材として今、注目のジムスターは、特殊なポリエステル原糸を高密度に配した超緻密構造の素材。従来のコーティングやラミネート加工素材にはない織物本来のソフトさを生かした質感を保ちながら、通気性・透湿性・撥水性、防水性の4大機能をすべて備えているのです。

スポーツ時代の質感のニーズに応えたジムスターですが、そのバランスにすぐれた質感とハードな機能を、ぜひジムスターブルゾンでお確かめください。

（マーバス加工）

防水機能が求められる外装素材とは逆に、吸水性が重要なフアクターとなっているのが裏地素材ですが、ここに紹介するマーバス加工は裏地素材用の加工として今、注目を集めているものです。

その加工は、ポリエステル原糸の分子構造を本質から改良し、親水化して天然繊維の特性を与えたのですが、これにより①天然繊維と同等の吸水性を永久的に保ち、汗によるベタつきを解消したほか、②永久的に静電気の発生を防止、③汚れがつきにくく、ついても落としやすく、しかも再汚染が少ない、④速乾性で家庭での洗濯が簡単、⑤洗濯による収縮がなく型崩れしない——等の特長が備わります。

'84ヤマハライディングウェアの中では、レーシングジャケット、スタッフジャケット、ウインディングジャケットの3アイテムに使用されていますので、これらの取扱にあたってはセールスポイントのひとつとしてこのマーバス加工をアピールしてください。

1・ヤングは遊び心が好き

トライのフルオプション装備車を展示するにしても、ただそれだけではなくバックに遊び心をあふれさせます。ヤングの好きなローラーブレーキやテニスジャケットでもいいでしょうし、ウインドブレーカーやウエストラックでもOK。ウキウキ、カラフルな演出が決めます。

2・ヤングはトータルコーディネートが好き

トライのフルオプション装備車のカラーリングに、ヘルメット、グローブ、ジャンパー類のカラーをコーディネートしてディスプレイします。お客さまにとっては全体の雰囲気がかめるので喜ばれることうけあい。思わぬ増収が見込めます。

3・ヤングは明解な答えが好き

たとえばトライのフロントスポーツバスケットのディスプレイひとつをとっても、実際に物を入れて、上部に取付けられたストラップを強調します。同じようにリヤボックスも、上ぶたを開けたままにして中にテニスボールなどのスポーツグッズを入れます。どこにどんな物が入るか、そしてどう楽しむか、を生活提案するディスプレイ。それがイコール、ヤングのお客さまへのセールストークにもなるのです。



